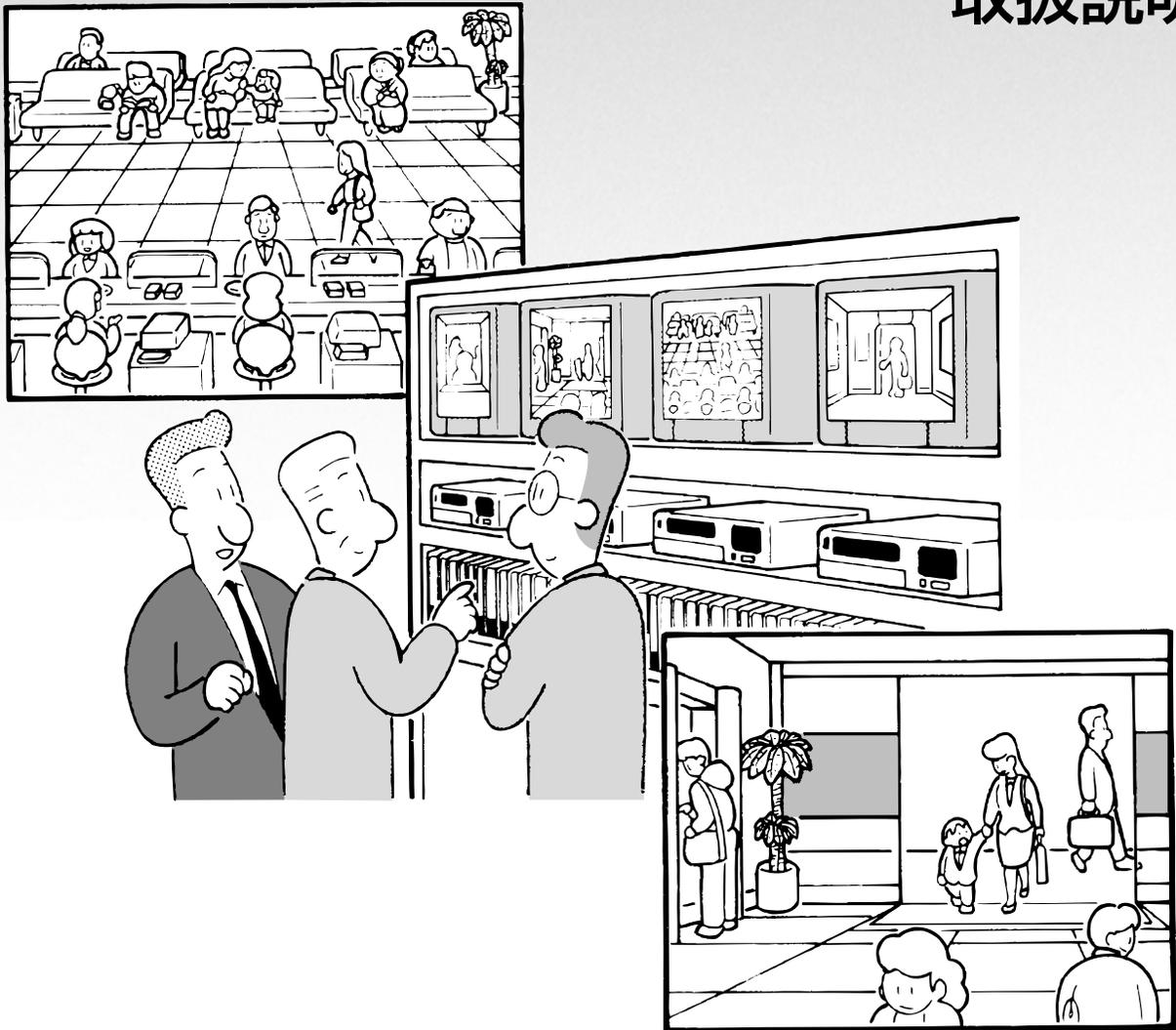


Panasonic

タイムラプスビデオ

品番 AG-6540

取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

● **VHS** マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

目次

安全上のご注意 4

本機について

特長 8
システム構成 10
操作ボタンの名称 12
表示管の説明 14

はじめて操作なさる方へ 15

操作マップ 16
最初にこれだけの操作を! 18
録画 22
アラーム録画 24
内部タイマー録画 28
外部タイマー録画 32
再生 34
サーチ操作 36
日付・時刻合わせ 38
操作上のお願い 40

メニュー画面について 41

メニュー画面とは 42
メニュー画面1(画面表示の設定) 44
メニュー画面2(VTRモードの設定1) 46
メニュー画面3(VTRモードの設定2) 48
メニュー画面4(アラーム録画モードの設定) 50
メニュー画面5(1コマ録画モードの設定) 52
メニュー画面6(内部タイマー録画モードの設定) 54
メニュー設定上のお願い 56

こんな機能もあります 57

1コマ録画 58
その他の機能 62

接続について 63

機器の接続 64
ターミナルの接続 66
ターミナルの信号レベル 68

使用上のお願い 69

露つき(d表示) 70
エラーコード表示 71
日常点検/定期点検 72
取り扱い上のお願い 73
こんなときは(Q&A) 74
アフターサービス 76

定格 77

メニュー画面の 機能別索引 裏表紙

本機について

はじめて
操作なさる方へ

メニュー画面
について

こんな機能
もあります

接続について

使用上のお願い

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について

警告

■不安定な場所に置かない！

 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
禁止

■電源コード上に重い物を乗せない！

 本機の下敷にならないよう注意してください。コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。
禁止

■水場に設置しない！

 火災・感電の原因となります。
水場使用禁止

安全上のご注意

必ずお守りください。

警告

異常時の処理について

■本機を落としたり、破損した場合は電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

 そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。
電源プラグを抜く

■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

 そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。
電源プラグを抜く

■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

 そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。
●お買い上げの販売店にご相談ください。

■煙が出ている、変なにおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

 火災・感電の原因となります。
●お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
電源プラグを抜く

■電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！

 そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。
●お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

使用方法について

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！

 こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。
禁止

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！

 火災・感電の原因となります。
禁止

■本機を改造しない！

 火災・感電の原因となります。
分解禁止

■水場で使用しない！

 火災・感電の原因となります。
水場使用禁止

■本機の裏フタ・キャビネット・カバー等はずさない！

 感電の原因となります。
●点検・整備・修理は販売店にご相談ください。
分解禁止

■消費電力が250ワットを越える装置は接続しない！

 火災の原因となります。
●本機のACアウトレットが供給できる電力は250ワットまでです。
禁止

警告

使用方法について

- 電源コードを
 - 加工しない!
 - 傷つけない!
 - 無理に曲げない!
 - ねじらない!
 - 引っ張らない!
 - 加熱しない!

 火災・感電の原因となります。
禁止

- 機器がぬれたり、水が入らないようにする!

 火災・感電をおこすおそれがあります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
禁止

- 表示された電源電圧以外は使用しない!

 火災・感電のおそれがあります。
禁止

設置について

注意

- 電源コードを熱機具に近づけない!

 コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
禁止

- 油煙や湯気が当たる場所に置かない!

 火災・感電の原因となることがあります。
禁止

- 湿気やほこりの多い場所に置かない!

 火災・感電の原因となることがあります。
禁止

- ぬれた手でプラグを抜き差ししない!

 感電の原因となることがあります。
禁止

- プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない!

 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
禁止

- 本機の通風孔をふさがない!

 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
●本機を風通しの悪い所に押し込む。
●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
禁止

- 電源コードを下にたらしさない!

 ふれたり、引っ掛けたりすると、落ちてけがをすおそれがあります。
禁止

注意

使用方法について

- 本機の上に重い物を置かない!

 バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。
禁止

- 本機に乗らない!

 倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。
禁止

- カセットテープ挿入口に手をはさまれないよう注意する!

 手をはさまれ、けがの原因となります。
指に注意

- 長期間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く!

 火災の原因となることがあります。
電源プラグを抜く

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードをはずす!

 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●ビデオカセットは、取り出しておいてください。
電源プラグを抜く

お手入れについて

- お手入れの際は安全のため、スイッチを切り、電源プラグを抜く!

 感電の原因となることがあります。
電源プラグを抜く

- 1年に1度くらいは、販売店に内部の掃除の相談を!

 本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

特長

高信頼性のIQメカニズム

2リールモータ

テープの巻き取り・送り出しを行う2つのリールのそれぞれに専用のモータを搭載しています。

新ブラシレスモータ

DD(ダイレクトドライブ)モータ自体も、耐久性にすぐれている新開発のブラシレスモータを採用しています。

大径インピーダンスローラ

大口径で質量の大きい真ちゅうを採用し、テープテンションを一定に保ちます。

16ビットデジタルサーボ

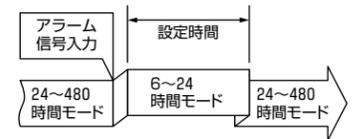
走行系を高精度に制御し、テープ走行を安定させます。
記録・再生時の精度が向上し、画質を総合的に高めています。

多機能な録画モード

- 長時間録画ができる多彩な録画時間モード
- 6時間の録画モード
- 高密度記録(HDR)のL18、L24、24、48、72、96、120、180、240、480、960時間の録画モード
- 高密度記録(HDR)の場合は、従来の同じ録画モードとくらべて記録間隔が約1/3になり、約3倍のコマ数を記録することができます。
- 1コマ録画モード
- 監視機能の自動化、省力化が図れる内部タイマー録画モード
- より確実な作動が行える外部タイマー録画モード
- アラーム入力があると、克明な映像を録画できる時間モードに切り換わるアラーム録画モード

非常ベル、警報に連動

- CD、ATMコーナー
- コンビニエンスストアなど

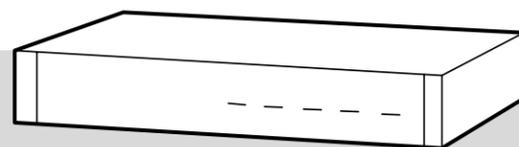


- ビデオ停止中、電源切り状態でもアラーム入力があると録画を開始するセンサー録画モード(エマージェンシ録画)
- 内部タイマー録画モードの待機中でも、センサー録画ができます。



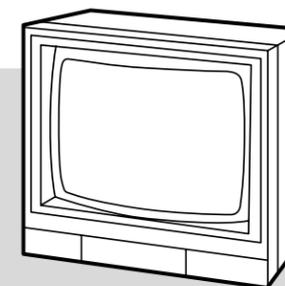
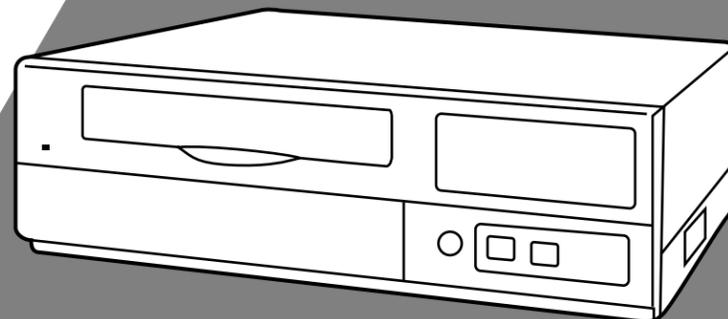
(アラーム/センサー録画時、時間モードを変更させないこともできます。)

システム構成



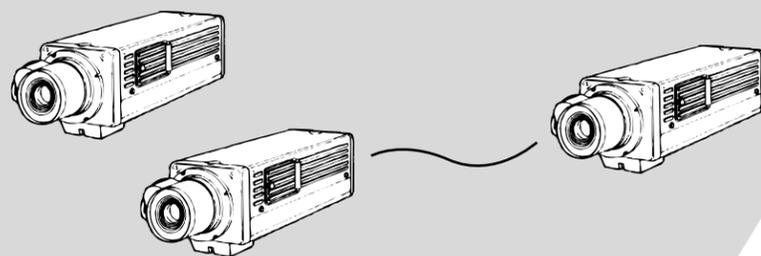
シーケンシャルスイッチャ

- 複数のカメラを任意に設定した時間で自動切り換えを行い、録画することができます。
- カメラ入力端子にカラーカメラと白黒カメラの信号を同時に入力しないでください。同時に入力すると、モニタ画面上で画面が乱れたり、ノイズが発生する場合があります。



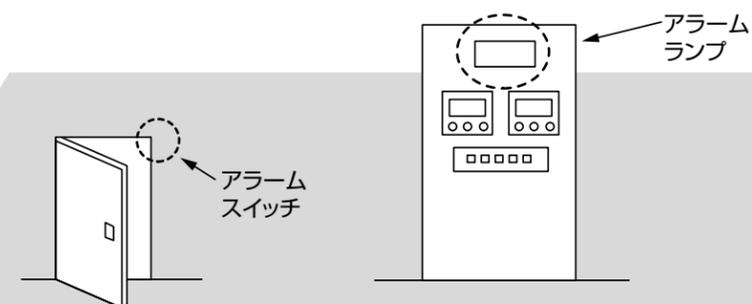
モニタテレビ

- 通常の映像や、メニュー画面を表示します。



テレビカメラ

- シーケンシャルスイッチャーとのシステムを組むときは、ゲンロック同期をかけるビデオカメラをおすすめします。



外部警報出力装置

- アラームスイッチの入により、アラーム録画やセンサー録画を開始させることができます。
- アラーム出力、テープ終端出力、オートオフ出力など、外部に設けた警報装置を作動させることにより、本機の状態を確認することができます。

操作ボタンの名称

前面部

- ① 電源ランプ
電源を入れると点灯します。
- ② カセット挿入口 (→18 ページ)
- ③ 表示管 (→14 ページ)
- ④ カセット取り出しボタン (→18 ページ)
- ⑤ 録画チェックボタン (→20 ページ)
録画中に押すと録画内容を確認できます。
- ⑥ 録画ボタン (→22 ページ)

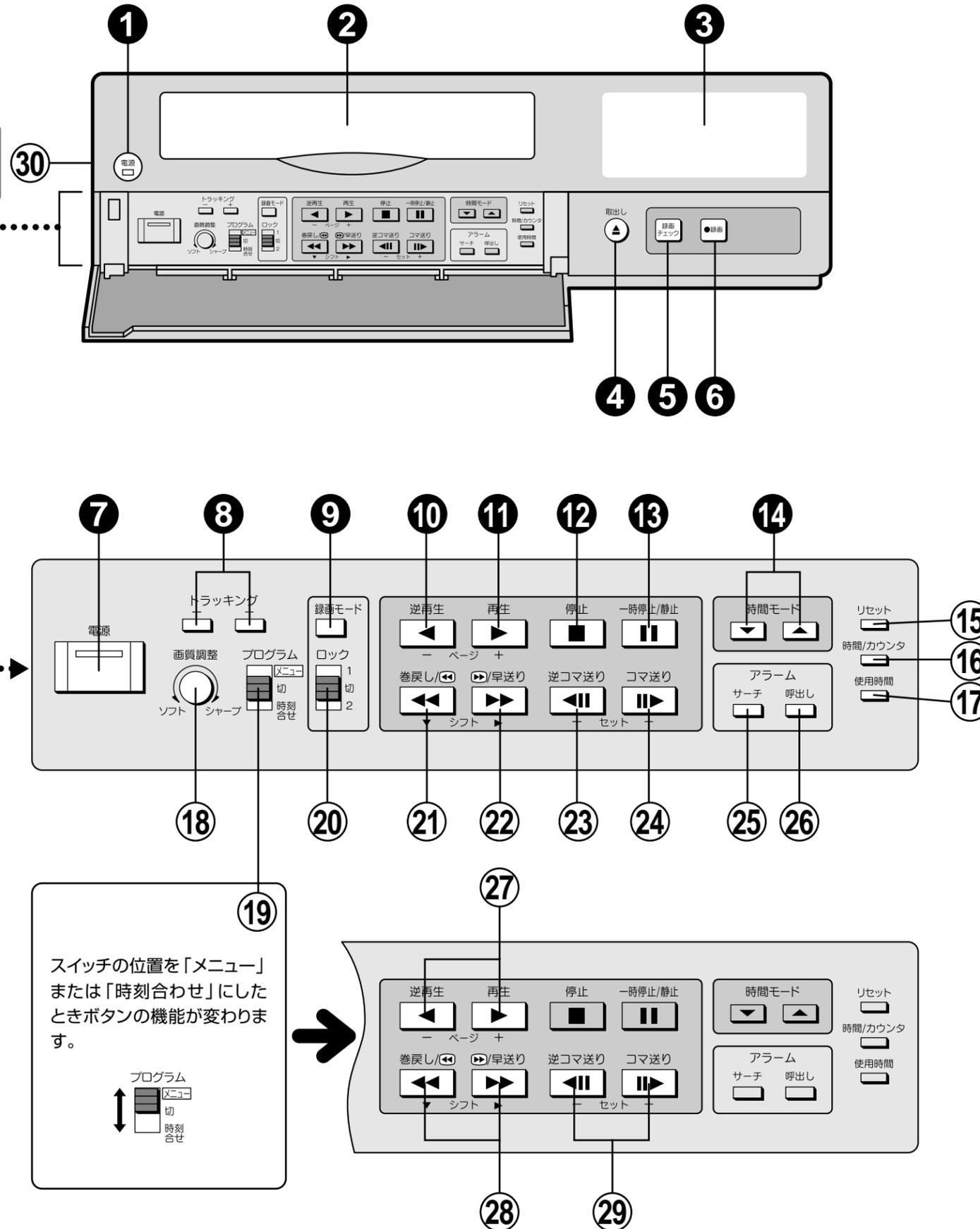
サブパネル部

- ⑦ 電源ボタン
- ⑧ トラッキング調整ボタン (→35 ページ)
トラッキングを調整します。
- ⑨ 録画モードボタン (→21 ページ)
録画モードを選択します。
- ⑩ 逆再生ボタン (→34 ページ)
- ⑪ 再生ボタン (→34 ページ)
- ⑫ 停止ボタン (→18 ページ)
- ⑬ 一時停止 / 静止ボタン (→19 ページ)
録画の一時停止や静止画再生に使用します。
- ⑭ 時間モードボタン (→21 ページ)
時間モードを選択します。

前面部

左側面 パネル部

サブパネル 拡大図



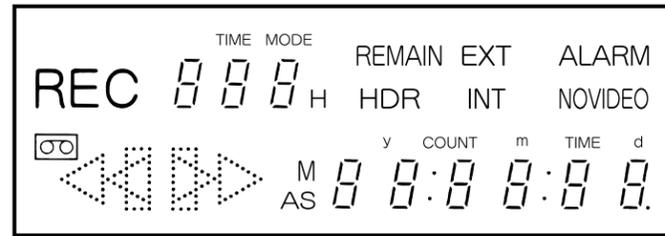
サブパネル部

- ⑮ リセットボタン (→21、27、48 ページ)
データのリセットに使用します。
- ⑯ 時間 / カウンタ表示切り換えボタン (→21 ページ)
時刻表示とテープカウンタの表示を切り換えます。
- ⑰ 使用時間モード (→73 ページ)
押すと、総使用時間 (シリンダー回転時間) が表示されます。
- ⑱ 画質調整つまみ (→35 ページ)
再生画質を調整します。
- ⑲ プログラムスイッチ (→20、38、43 ページ)
メニュー表示、時刻合わせを行うとき使用します。
- ⑳ 録画ロックスイッチ (→21 ページ)
録画ロックモードを設定します。
- ㉑ 巻戻しボタン (→19、36 ページ)
- ㉒ 早送りボタン (→19、36 ページ)
- ㉓ 逆コマ送りボタン (→19 ページ)
- ㉔ コマ送りボタン (→19 ページ)
- ㉕ アラームサーチボタン (→37 ページ)
アラームサーチ機能を設定します。
- ㉖ アラーム呼出しボタン (→27 ページ)
アラームメモリデータをモニタ画面に表示させます。
- ㉗ ページボタン (→43 ページ)
メニュー画面のページアップ、ダウンに使用します。
- ㉘ シフトボタン (→43 ページ)
項目の選択に使用します。
- ㉙ セットボタン (→43 ページ)
設定項目の内容選択に使用します。

左側面パネル部

- ⑳ 垂直同期調整ボリューム (2h、6h) (→35 ページ)
静止画再生画像が少し上下に揺れる時に使用します。

表示管の 説明



前面パネルにある大型表示管に本機の各種情報が表示されます。

	録画中に点灯します。
	時間モードを表示します。
	録画モードを表示します。 無表示 : 通常モード EXT : 外部タイマー録画モード INT : 内部タイマー録画モード (選択すると電源が切りの状態になります。)
	アラーム録画モードが設定されると表示します。 メニュー画面4の“MODE”を“OFF”以外にすると表示します。(→50ページ)
	カセットマークです。 カセットが挿入されると表示します。 録画チェック後、エラーがあると点滅します。(→71ページ)
	ビデオの動作モードを表示します。 ▶または▶▶ = 再生 ◀ = 逆再生 REC ▶ = 録画、録画確認 REC ◻◻ = 録画一時停止 ◻◻ = 静止画、コマ送り ▶▶ = 早送り、早送り再生 ◀◀ = 巻戻し、巻戻し再生
	アラームサーチモードのとき表示します。 (→37ページ)
	時刻・テープカウンター値を表示します。
	エラー発生時にはエラーコードを表示します。 (→71ページ)

入力映像信号がない時に、点滅します。

メニュー画面5の“BUZZER”を“ON”にすると録画モードでテープ終端付近に近づいた時、点滅します。

高密度記録が設定されていると表示します。

はじめて 操作なさる方へ

操作全体の流れ

録画

再生

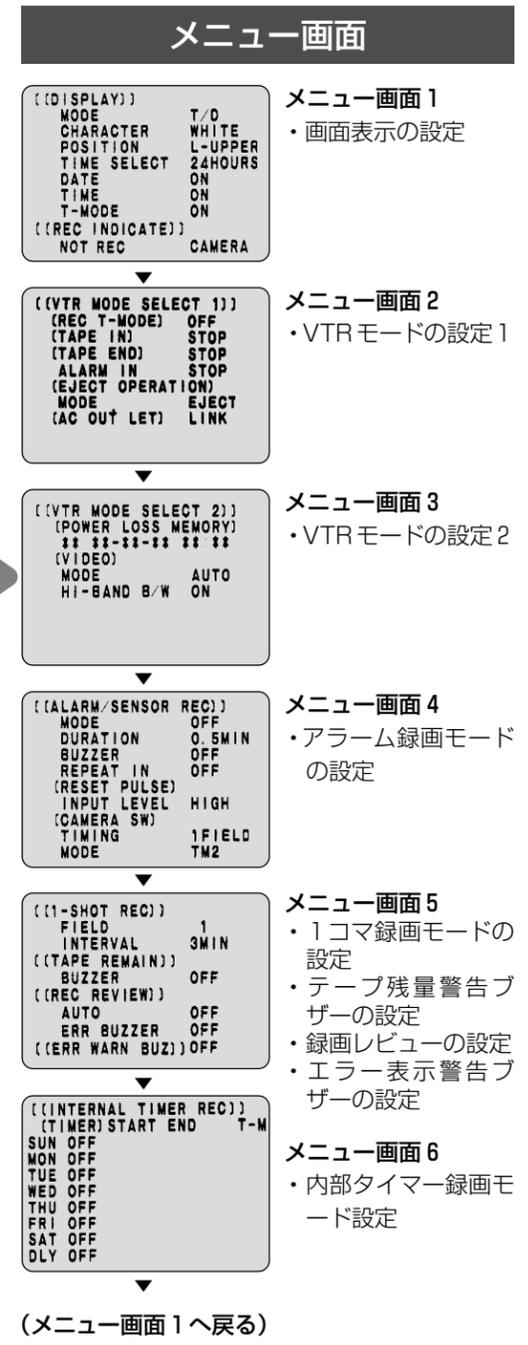
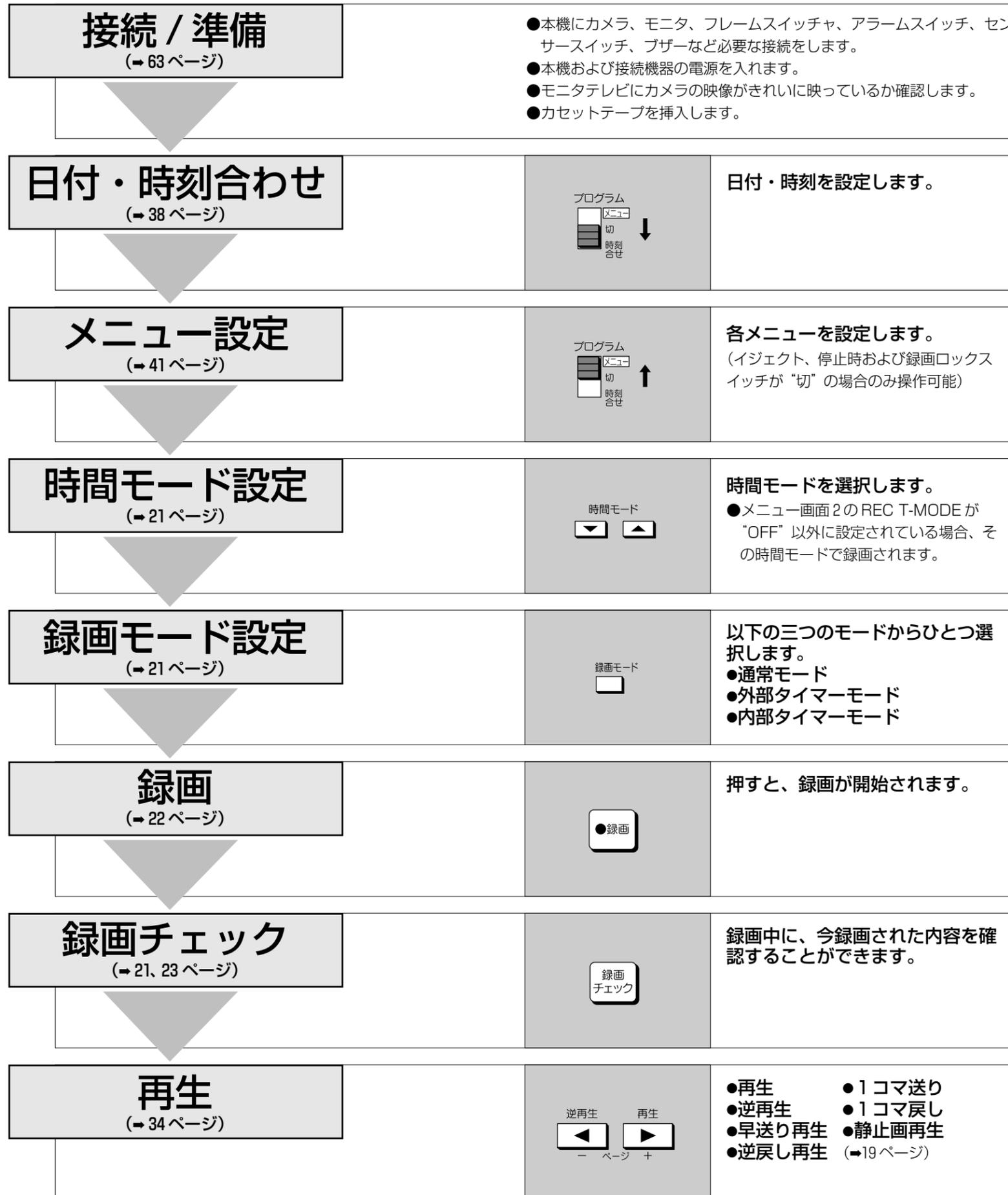
時刻合わせ

お願い

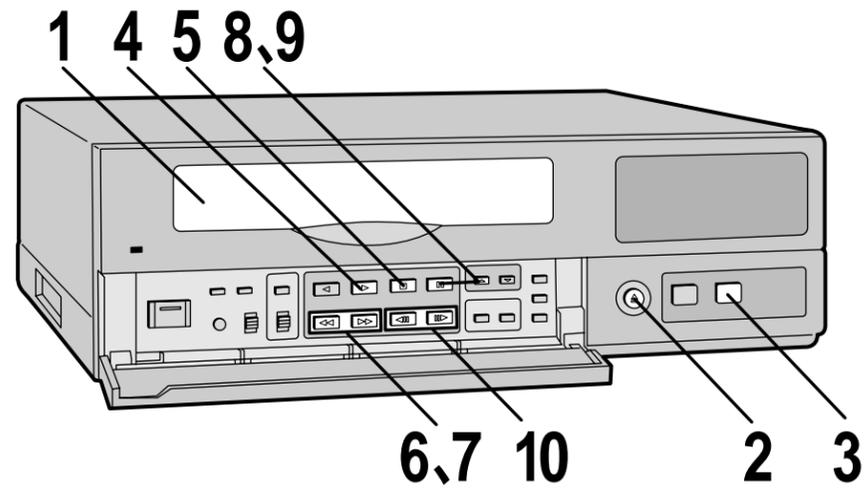
操作マップ	16
最初にこれだけの操作を!	18
録画	22
アラーム録画	24
・センサー (エマージェンシ) 録画モードについて	27
・アラームメモリリコール機能について	27
内部タイマー録画	28
外部タイマー録画	32
再生	34
・トラッキング調整について	35
・画質調整について	35
・時間モードについて	35
サーチ操作	36
・早送り / 巻戻し再生のしかた	36
・アラームサーチ (アラーム録画部分の検索) / メモリストップのしかた	37
日付・時刻合わせ	38
操作上のお願い	40

操作マップ

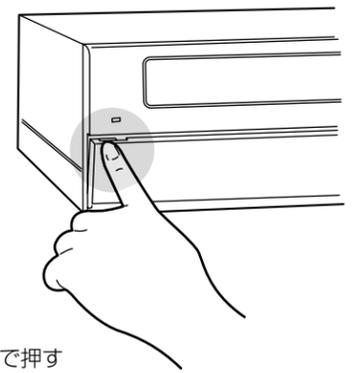
本機の接続から再生までの操作の流れを説明しています。



最初に これだけの 操作を！



■サブパネルの開け方

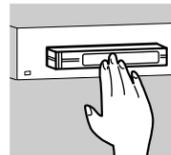


軽く指で押す

本機をご使用になるとき、最初にこれだけの操作だけは覚えておきましょう。

■カセットの入れかた

1



中央部をゆっくり
押す
無理に入れない！



■カセットの取り出し方

2



取出し
押す
(しっかり押さないと動作しません)

■録画のしかた

3



押す
(→注1)



■再生のしかた

4



押す



■停止のしかた

5



押す
すべてのテープ走行が停
止します。

■早送り / 巻戻しのしかた

6



停止中に
押す



■早送り / 巻戻し再生のしかた

7



再生中に
押し続ける
(→注2)



■録画の一時停止のしかた

8



録画中に
押す
(→注3)



■静止画再生のしかた

9

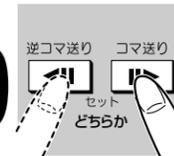


再生中に
押す
(→注3)



■コマ送り再生のしかた

10



静止画再生中に
押す
(→注3)



ノート

【注1】
カセットの誤消去防止つめが折れていると、カセットが出てきます。
(→40 ページ)

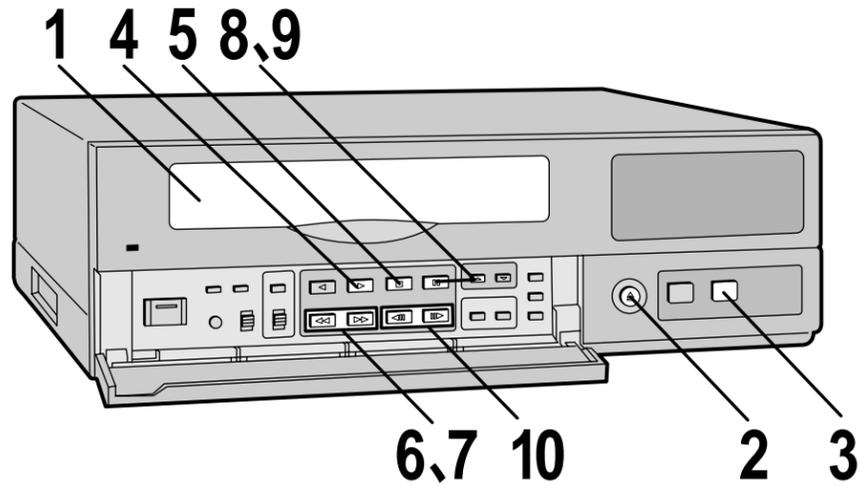
【注2】
アラームサーチモードにすると、早送り/巻戻し再生を、一度ボタンを押すだけで、動作を継続させることができます。
(→36 ページ)

【注3】
一時停止、静止画再生状態は、テープ保護のため、一定時間がすぎると停止モードになります。

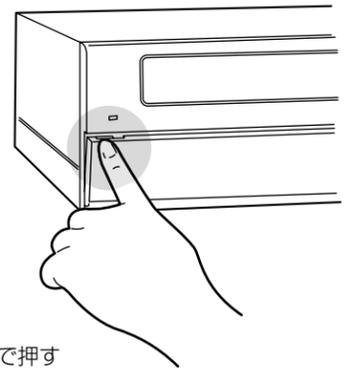
【オートヘッドクリーナー機能について】
停止状態から録画・再生を開始したときや、録画・再生状態から停止状態に移行したとき、自動的にビデオヘッドの汚れを取り除きますのできれいな画像が得られます。
ただし、長期間ビデオを使用すると、ビデオヘッドが汚れてくることがあります。
そのときは、ヘッドクリーニングの必要があります。ヘッドクリーニングには、ヘッドそうじ用カセット(非研磨性)をおすすめします。

最初に これだけの 操作を！

つづき



■サブパネルの開け方



軽く指で押す

■録画確認のしかた



録画中に
押す
〔→注1〕

■トラッキング調整のしかた



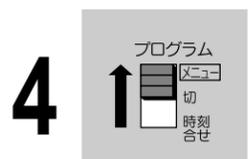
再生中に
まず同時に押す
それでも調整できない場合は、
+または-ボタンを単独で押す
〔→35ページ〕

■画質調整のしかた



(再生中に)
回す
〔→35ページ〕

■メニュー画面の出しかた



停止 / イジェクト時、
“メニュー”にする
・録画ロックスイッチが設
定されているとメニュー
画面は表示されません。

〔(DISPLAY)〕
MODE T/D
CHARACTER WHITE
POSITION L-UPPER
TIME SELECT 24HOURS
DATE ON
TIME ON
T-MODE ON
〔(REC INDICATE)〕
NOT REC CAMERA

■時刻合わせ表示の出しかた



停止 / イジェクト時、
“時刻合わせ”にする
・録画中に設定すると、
時刻合わせ画面が録
画されます。

TIME ADJUST
00-11-25 SAT
13:22:00

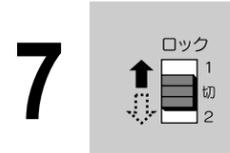
■録画モードの選択



録画前に
押して
選択する
〔→注2〕



■録画ロックのかけかた



録画中に
“1”または“2”
にする
〔→注3〕

■時間モードの選択



録画、再生前(中)に
押して
選択する
〔→注4〕



■時刻・テープカウンタ・リピート回数の表示切り換え



押すごとに
切り替わる



●時刻
●テープカウンタ
●リピート回数
●リピート回数はメニュー画面2のTAPE END
モードを“REPEAT”に設定している場合、回数
を表示します。
カセットテープを交換すると“1”になります。
カセットテープの交換の目安は56ページの表を
参照してください。

■テープカウンタのリセット



カウンタ表示中に
押す



ノート

〔注1〕

録画中、録画チェックボタンを押した寸前の画
像を一部再生し、再度録画モードに戻ります。
(再生画像が現れるまで3秒程かかります。)

録画チェック動作後、ヘッド汚れ、テープ劣化
により適正なビデオレベルが得られなかった場
合、表示管のカセットマーク()が点滅しま
す。(→71ページ)

・録画開始ごとに、録画チェックを自動的に行う
機能を設定することもできます。(→52ページ)

〔注2〕

録画モードは、ボタンを押すごとに外部タイマー
→内部タイマー→無表示に変わります。

内部タイマーにすると、電源が切り状態になり
ます。(→31ページ)

〔注3〕

録画ロックをかけると、録画開始後、通常の操
作が行えなくなります。

1 : 録画チェックのみ可能

切 : 通常操作可能

2 : 録画チェック、イジェクトのみ可能

(ただし、使用時間ボタンは常に操作可能です。)

〔注4〕

時間モードは以下のとおりです。

6Hモード : 3倍速モード

L18H、L24Hモード : リニアスローモード

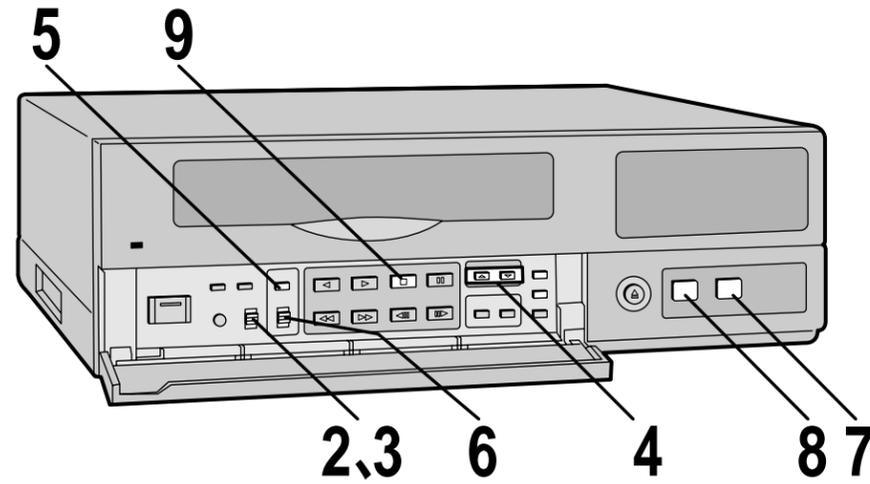
24～960Hモード : タイムラプスモード

000Hモード : 1コマ録画モード

HDR : 高密度記録モード

録画時間モードについては、46、56ページを参照。

録画



■サブパネルの開け方



軽く指で押す

録画の開始から終了までの操作を説明しています。

- 1** ■接続、接続機種の準備を完了させる (→ 63 ページ)
 ■電源を入れる
 ■つめの折れていないカセットを入れる (→ 40 ページ)
 (→ 注1)

2 日付・時刻を合わせる (→ 38 ページ)

TIME ADJUST
 00- 1- 1 SAT
 00 00 00

3 メニュー設定をする (→ 41 ページ)
 (→ 注2)

〔DISPLAY〕 T/D
 MODE WHITE
 CHARACTER L-UPPER
 POSITION 24HOURS
 TIME SELECT ON
 DATE ON
 TIME ON
 T-MODE ON
 〔REC INDICATE〕
 NOT REC CAMERA

4 押して、時間モードを設定する (→ 注3)
 どちらか

TIME MODE 48 H
 TIME 11:53

5 押して、録画モードを設定する (→ 注4)

TIME MODE 48 H EXT
 TIME 11:53

- 6** 録画ロックを設定する場合は“1”または“2”にする

7 押すと、録画が開始する

REC TIME MODE 48 H
 TIME 11:53

8 録画中に、押すと録画チェックできる

9 押すと、停止する (→ 注6)

■推奨テープ

本機は監視・保安・観察など高信頼性を要求される商品として設計されています。録画の信頼性を確保するため以下のパナソニックビデオテープの使用をお勧めします。
 VHS テープ：NV-T 30, T 60, T 90, T 120 シリーズ

ノート

〔注1〕
 メニュー画面2で自動録画機能の設定ができます。(→ 46 ページ)

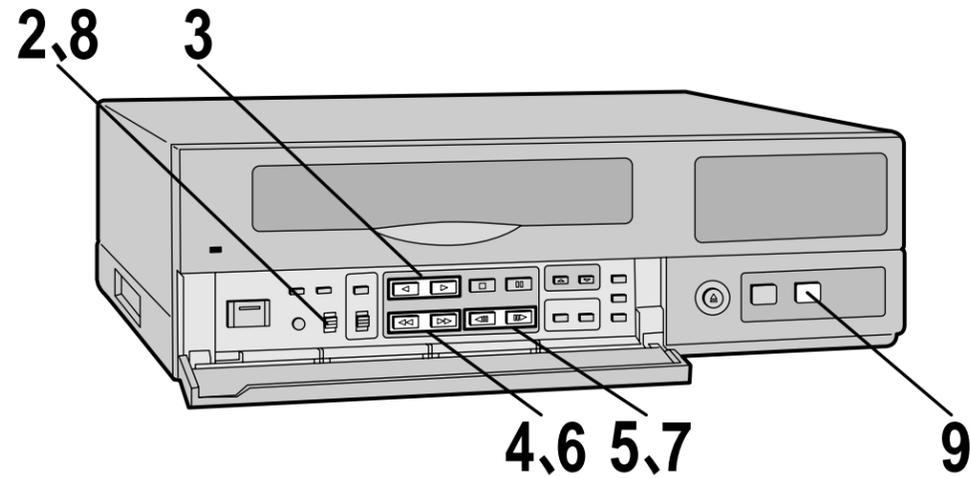
〔注2〕
 時刻合わせ、メニュー設定の終了後は、必ずプログラムスイッチを“切”に戻します。

〔注3〕
 時間モードの設定は、メニュー画面2の“REC T-MODE”が“OFF”以外の場合、録画開始すると、“REC T-MODE”で設定した時間モードになります。(→ 46 ページ)

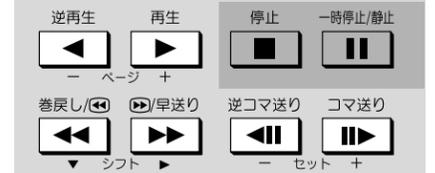
〔注4〕
 I N T : 内部タイマー録画モード
 E X T : 外部タイマー録画モード
 無表示 : 通常モード
 内部タイマー録画モードを選択すると、電源が切りの状態になります。(→ 31 ページ)

〔注5〕
 録画ロックスイッチが“切”以外の位置に設定されている場合は、“切”に戻してから停止ボタンを押してください。

アラーム録画



〔メニュー設定操作ボタン〕



ページ (-) ボタン：ページダウン
 ページ (+) ボタン：ページアップ
 シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
 シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
 セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
 セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

アラーム録画とは、タイムラプス録画時にアラーム入力があると、時間モードが鮮明に録画できる時間モードに変わり、異常事態を克明に録画するためのものです。

1 22 ページの 1～4 の操作を完了させます。

2 “メニューにする”

```

    (([DISPLAY])
    MODE           T/D
    CHARACTER      WHITE
    POSITION         L-UPPER
    TIME SELECT    24HOURS
    DATE           ON
    TIME           ON
    T-MODE         ON
    (([REC INDICATE])
    NOT REC       CAMERA
    
```

3 押して、メニュー画面 4 を表示させる

```

    (([ALARM/SENSOR REC])
    MODE           OFF
    DURATION       0.5MIN
    BUZZER         OFF
    REPEAT IN     OFF
    (RESET PULSE) OFF
    INPUT LEVEL   HIGH
    (CAMERA SW)   1FIELD
    TIMING        TM2
    MODE           TM2
    
```

4 1 回押す

```

    (([ALARM/SENSOR REC])
    MODE           OFF
    DURATION       0.5MIN
    BUZZER         OFF
    REPEAT IN     OFF
    (RESET PULSE) OFF
    INPUT LEVEL   HIGH
    (CAMERA SW)   1FIELD
    TIMING        TM2
    MODE           TM2
    
```

5 押して、アラーム録画時の録画時間モードを選択する (→注1)

```

    (([ALARM/SENSOR REC])
    MODE           2H
    DURATION       0.5MIN
    BUZZER         OFF
    REPEAT IN     OFF
    (RESET PULSE) OFF
    INPUT LEVEL   HIGH
    (CAMERA SW)   1FIELD
    TIMING        TM2
    MODE           TM2
    
```

6 1 回押す

```

    (([ALARM/SENSOR REC])
    MODE           2H
    DURATION       0.5MIN
    BUZZER         OFF
    REPEAT IN     OFF
    (RESET PULSE) OFF
    INPUT LEVEL   HIGH
    (CAMERA SW)   1FIELD
    TIMING        TM2
    MODE           TM2
    
```

7 押して、録画間隔を選択する (→注2)

```

    (([ALARM/SENSOR REC])
    MODE           2H
    DURATION       3.0MIN
    BUZZER         OFF
    REPEAT IN     OFF
    (RESET PULSE) OFF
    INPUT LEVEL   HIGH
    (CAMERA SW)   1FIELD
    TIMING        TM2
    MODE           TM2
    
```

8 “切” にする (→注3)

通常画面

9 押す

REC 48H ALARM
 11:53

10 録画が開始されます。
 録画のしかたについては、22 ページを参照ください。

ノート

- 〔注1〕
- アラーム録画を行わない場合は、“OFF” に設定します。
 - MODEを“OFF”以外に設定すると、表示管に“ALARM”が表示されます。
 - 録画時間の設定は以下のとおりです。
 - 6、L18、L24、24時間、NO CHANGE (時間モードの変更なし)
 - (→50 ページ)

- 〔注2〕
- 録画間隔とは、アラーム録画を行う時間です。
 (→50 ページ)

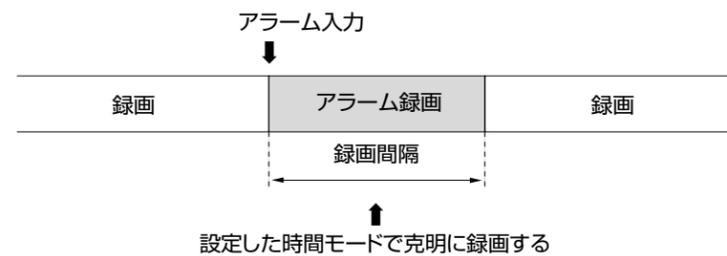
- 〔注3〕
- メニュー画面での設定は、プログラムスイッチを“切”にした時点で確定されます。

- 〔その他〕
- メニュー画面 4 では、ここでの設定以外に
- アラーム録画時のブザー ON/OFF
 - リピートイン機能の設定
 - アラームリセットパルスのレベル選択
 - カメラ切り換えタイミング
- などの設定もできます。
 (→50 ページ)

↓ (操作続く)

アラーム録画 つづき

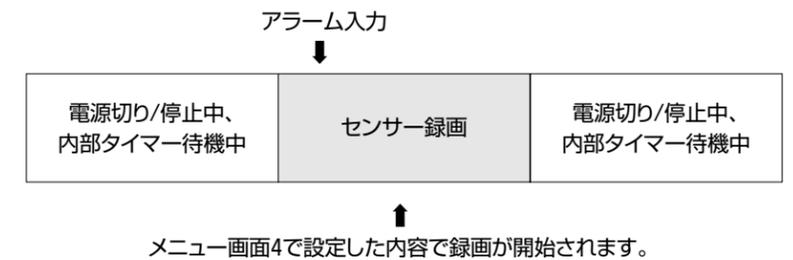
11 アラーム入力があると、アラーム録画モードになる



- 一度アラーム録画が行われると、表示管に“アラーム”が点滅します。停止ボタンを押すと表示は消灯します。

センサー(エマージェンシ)録画モードについて

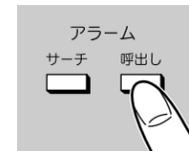
- 電源が切れている状態、停止している状態でもアラーム入力があるとすぐに、センサー(エマージェンシ)録画が開始されます。
- センサー録画モードとアラーム録画モードの内容は同じです。
- メニュー画面4の“MODE”が“OFF”に設定されているとセンサー録画は動きません



アラームメモリリコール機能について

アラーム録画が働いた日時、回数を記憶する機能です。

サブパネル右側



押すと、アラームリストが表示される

- 過去8回までのデータを記憶します。
- アラーム回数のメモリは99回までで、それ以上は00に戻ります。
- アラームリコール画面が表示中に、リセットボタンを押すと、メモリをクリアすることができます。
- 表示は30秒たつと自動的に消えます。再度、アラームリコールボタンを押しても消えます。
- センサー録画もアラーム録画と同様にアラームメモリデータに記憶されます。

モニタ

〔〔ALARM RECALL MEMORY〕〕		
NO.	DATE	TIME
09	00-10-09	7:00
08	00-10-01	6:00
07	00-09-28	7:00
06	00-09-21	12:00
05	00-09-12	9:00
04	00-08-13	10:00
03	00-08-11	17:00
02	00-08-05	23:00

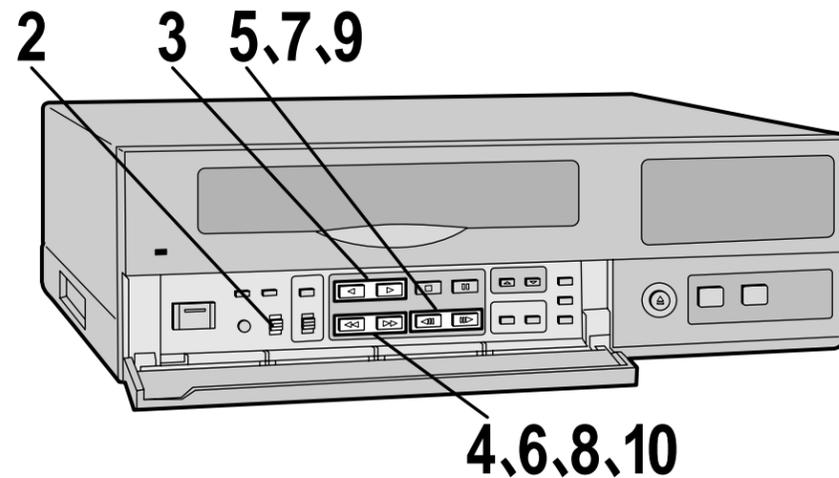
アラーム番号
上から順に
最新データが
表示されます。

アラーム入力のあった日付と時刻

- アラーム録画が無かった場合や、リセットした場合は以下のように表示されます。

〔〔ALARM RECALL MEMORY〕〕		
NO.	DATE	TIME
##	##-##-##	##:##
##	##-##-##	##:##
##	##-##-##	##:##

内部タイマー録画



〔メニュー設定操作ボタン〕



ページ (-) ボタン：ページダウン
 ページ (+) ボタン：ページアップ
 シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
 シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
 セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
 セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

内部タイマーを使用して、任意に設定した時間に、録画の開始・終了を行うことができます。

1 22 ページの 1～2 の操作を完了させます。

2 プログラムメニュー時刻合せ “メニューにする” (→注1)

[[DISPLAY]]	T/D
MODE	WHITE
CHARACTER	L-UPPER
POSITION	24HOURS
TIME SELECT	ON
DATE	ON
TIME	ON
T-MODE	ON
[[REC INDICATE]]	CAMERA
NOT REC	

3 押し、メニュー画面 6 を表示させる

[[INTERNAL TIMER REC]]	(TIMER) START END T-M
SUN OFF	
MON OFF	
TUE OFF	
WED OFF	
THU OFF	
FRI OFF	
SAT OFF	
DLY OFF	

4 押し

[[INTERNAL TIMER REC]]	(TIMER) START END T-M
SUN OFF	
MON OFF	
TUE OFF	
WED OFF	
THU OFF	
FRI OFF	
SAT OFF	
DLY OFF	

5 押し、 “ON” を選択する (→注2)

[[INTERNAL TIMER REC]]	(TIMER) START END T-M
SUN ON	0:00 0:00 72
MON OFF	
TUE OFF	
WED OFF	
THU OFF	
FRI OFF	
SAT OFF	
DLY OFF	

6 押し 開始時刻を設定します。

[[INTERNAL TIMER REC]]	(TIMER) START END T-M
SUN ON	0:00 0:00 72
MON OFF	
TUE OFF	
WED OFF	
THU OFF	
FRI OFF	
SAT OFF	
DLY OFF	

7 押し、開始時刻の “時” を設定する

[[INTERNAL TIMER REC]]	(TIMER) START END T-M
SUN ON	10:00 0:00 72
MON OFF	
TUE OFF	
WED OFF	
THU OFF	
FRI OFF	
SAT OFF	
DLY OFF	

8 押し

[[INTERNAL TIMER REC]]	(TIMER) START END T-M
SUN ON	10:00 0:00 72
MON OFF	
TUE OFF	
WED OFF	
THU OFF	
FRI OFF	
SAT OFF	
DLY OFF	

9 押し、開始時刻の “分” を設定する

[[INTERNAL TIMER REC]]	(TIMER) START END T-M
SUN ON	10:30 0:00 72
MON OFF	
TUE OFF	
WED OFF	
THU OFF	
FRI OFF	
SAT OFF	
DLY OFF	

10 押し 終了時刻を設定します。

[[INTERNAL TIMER REC]]	(TIMER) START END T-M
SUN ON	10:30 0:00 72
MON OFF	
TUE OFF	
WED OFF	
THU OFF	
FRI OFF	
SAT OFF	
DLY OFF	

ノート

〔注1〕
メニュー画面が表示できるのは、ビデオが停止/イジェクト状態の場合のみです。

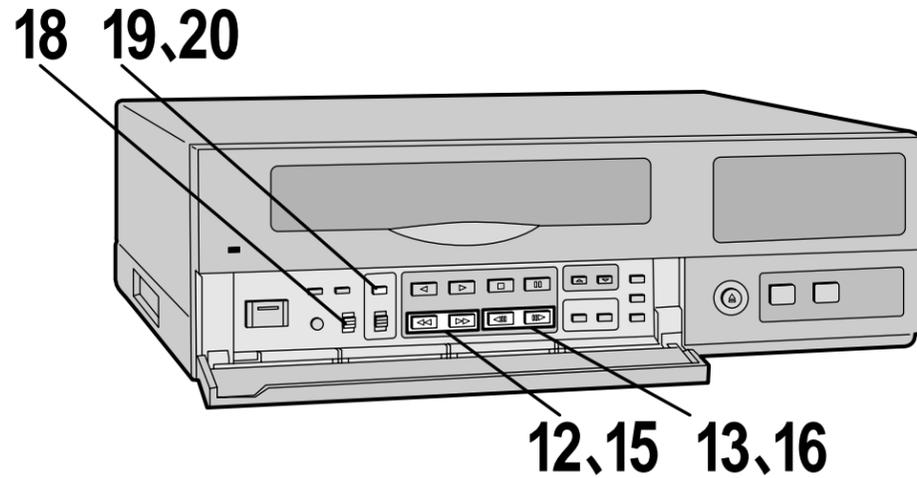
〔注2〕
タイマー録画を設定しない場合は “OFF” のままにしておきます。

〔その他〕
・内部タイマーの設定を行う前に、日付・時刻の設定は、必ず完了させておいてください。
・録画開始までに多少時間がかかるため、タイマー録画を行うときは、1分早めに開始時間を設定してください。

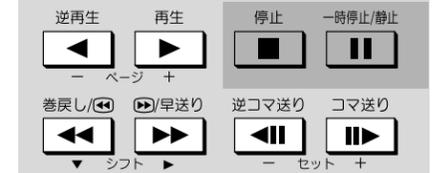
↓ (操作続く)

内部タイマー 録画

つづき



〔メニュー設定操作ボタン〕



ページ (-) ボタン：ページダウン
 ページ (+) ボタン：ページアップ
 シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
 シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
 セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
 セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

11 開始時刻の設定 (7~9の操作) と同様にして終了時刻の“時”“分”を設定します。

12 押す

[[INTERNAL TIMER REC]]
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10 30 12 00 72
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF

13 押して、録画時間モードを選択する (→注1)

[[INTERNAL TIMER REC]]
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10 30 12 00 48
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF

14 4~13の操作を繰り返して、各曜日ごとに録画開始・終了時刻、録画時間モードを設定します。

↑ ここまではウイクリータイマーの設定です。(→注2)

↓ ここからはデイリータイマーの設定です。(→注2)

15 押す

[[INTERNAL TIMER REC]]
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10 00 12 00 48
MON ON 10 00 16 00 72
TUE OFF
WED OFF
THU ON 10 00 18 00 72
FRI OFF
SAT ON 9 00 12 00 48
DLY OFF

16 押して、“ON”を選択する (→注3)

[[INTERNAL TIMER REC]]
(TIMER) START END T-M
SUN ON 10 00 12 00 48
MON ON 10 00 16 00 72
TUE OFF
WED OFF
THU ON 10 00 18 00 72
FRI OFF
SAT ON 9 00 12 00 48
DLY ON 10 00 0 00 72

17 7~12の操作を繰り返して、ウイクリータイマーと同様に、録画開始・終了時刻、録画時間モードを設定します。

18 “切”にする (→注4)



19 押して、“INT”を表示させる (→注5)



20 解除するには押して“INT”を消灯させる



ノート

〔注1〕
 デイリータイマーとウイクリータイマーが同じ時間帯に重なった場合、録画時間モードはウイクリータイマーが優先されます。
 (→ 55 ページ)

〔注2〕
 ウイクリー (曜日) タイマーとは各曜日ごとに異なった時間帯でタイマーを設定することができます。

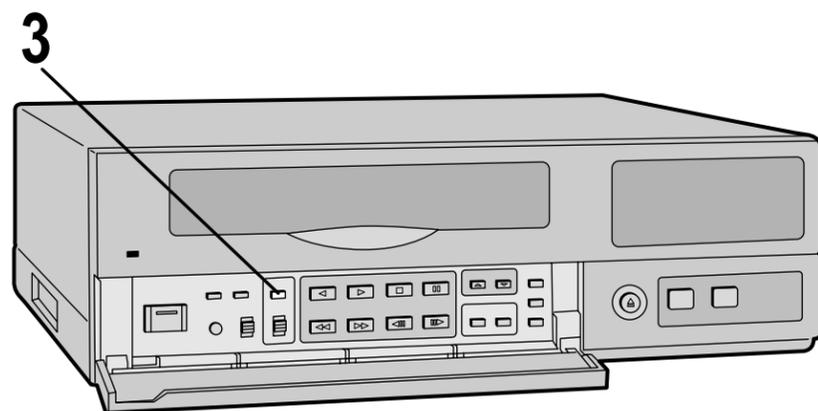
デイリー (毎日) タイマーとは毎日決まった時間帯にタイマーを設定することができます。

〔注3〕
 デイリタイマーを設定しない場合、16の操作で“OFF”に設定します。

〔注4〕
 メニュー画面で設定した内容は、プログラムスイッチを“切”に戻した時点で確定されます。一旦設定された内容は、半永久的に保持されます。

〔注5〕
 録画モードを“INT”に設定すると、電源が切れた状態になります。設定した時刻になると、自動的に録画が開始されます。

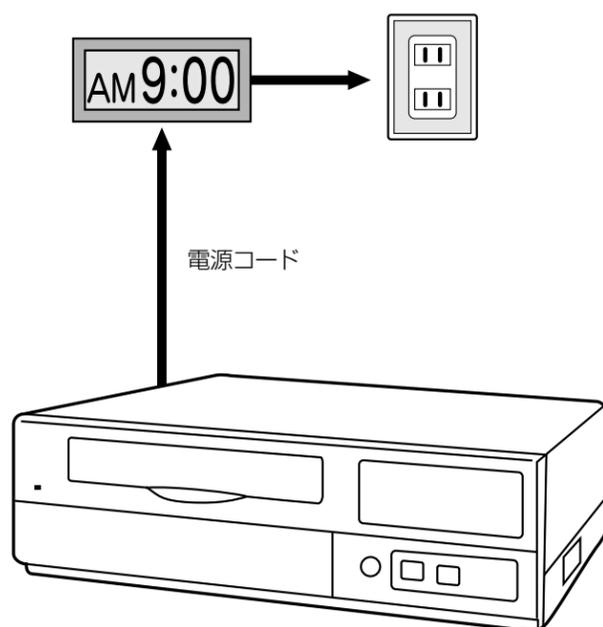
外部タイマー録画



外部に設けたオーディオタイマーなどで、本機への電源供給をオン/オフし、タイマー録画することができます。

1 22ページの1～4の操作を完了させます。

2 外部タイマー(オーディオタイマーなど)を接続します。



■ビデオの設定が終わるまでは、通電状態にしておいてください。

3 押し、
“EXT”を
表示させる
[→注1]



4 ■外部タイマー側の設定を行います。
[→注2]

5 ■外部タイマーで設定した時刻になると、
録画が開始されます。

6 解除するには
通電状態のときに
押し“EXT”
を消灯させる



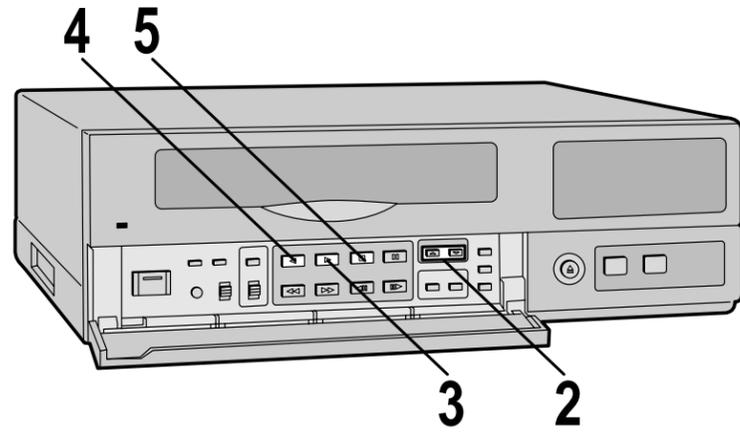
ノート

【注1】
カセットが挿入されていなかったり、カセットの誤消去防止つめが折れている場合、ブザー音とともに“EXT”が点滅します。

【注2】
外部タイマーの設定のしかたについては、外部タイマーに添付されている取扱説明書をご参照ください。

【その他】
外部タイマー録画モードで、通電されていない状態のとき、アラーム入力があっても、センサー録画は開始されません。

再生



録画した内容を映し出す操作です。

- 1**
- 接続、接続機種の手続きを完了させる (→ 63 ページ)
 - 電源を入れる
 - 録画済みのカセットを入れる

2

押して、時間モードを選択する
(→ 右ページの時間モードについて)

3

通常の再生の場合に押す

4

逆方向再生の場合に、押す
1コマ録画の逆再生はできません。

5

再生を停止するときに押す

トラッキング調整について

再生画にこんなノイズが現れたら



- 本機は、オートトラッキング機能を搭載していますので通常は、トラッキングの調整は不要です。しかし右のようなノイズが出る場合は、トラッキングの再調整を行ってください。
- ＋ボタンを同時に押します。それでもノイズがでる場合は、+または-ボタンを単独で押します。

画質調整について



再生画の調整を行う場合

- 右に回すと、ハッキリした画像になります。
- 左に回すと、やわらかい画像になります。

左側面パネル 2h 6h

静止画像が上下に少しゆれる場合

- 小さいドライバーなどで左側面パネルの垂直同期調整ボリュームを回して調整します。疑似VがONのときのみ調整できます。通常は操作しないでください。

疑似Vについて

2H、6Hモード以外の再生中、コマ送り(+)ボタンで疑似VのON/OFFができ、ダンシングを軽減できます。また、フレームスイッチャートのシステムでの再生時、他のカメラの画面があらわれるのを軽減できます。

疑似VがONのときは動作モード表示は▶になります。疑似VがOFFのときは動作モード表示は▶になります。

- ・(疑似VがOFFのとき)6Hモードで記録してL18H、L24Hモードで再生することができますが画面が乱れます。しかし故障ではありません。

時間モードについて

■間欠録画されたテープを同じ時間モードで再生する場合、次の点にご注意ください。

- ・画像が多少横ゆれを起こしますが、異常ではありません。
- ・画像の上部が少し歪む場合がありますが、異常ではありません。
- ・L18H、L24Hモードにおいて画面ゆれが発生しますが、異常ではありません。
- ・音声は完全な状態では再生されませんが、異常ではありません。

■記録する時間モードによって再生出来ない時間モードがあります。

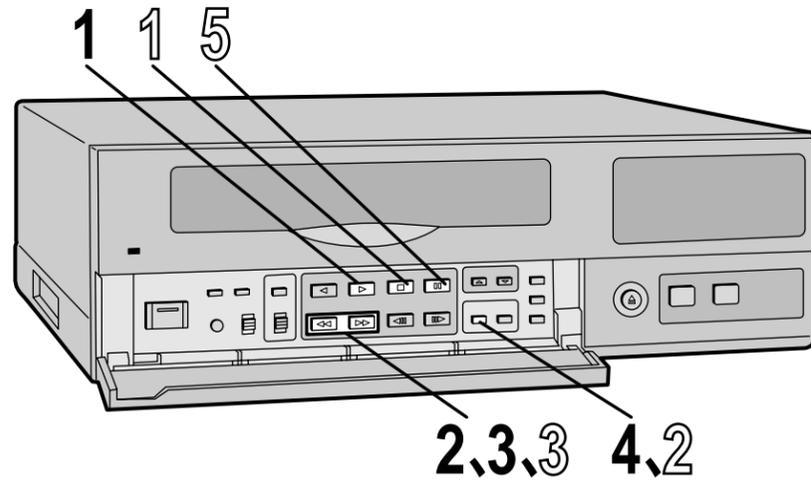
録画時間モード \ 再生時間モード	2H	6H
2H(他のVTRで記録)	再生可能	再生不可能
6H HDR(L18、L24、24H~960H)	再生不可能	再生可能(HDR記録の場合ノイズが出る場合があります。)

- 再生時に、録画済みテープの時間モードが2Hの場合は2Hモードに、6Hの場合は6Hモードに自動で切り換わります。他のVTRで2Hモード録画されたテープは2Hモードのみで再生してください。

その他

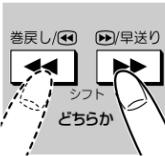
- 逆再生時は、音声はできません。また1コマ録画モードは逆再生できません。
- 音声の記録時、記録したモードと再生するモードが異なる場合は、音程も変化します。
- L(リニアスロー)モードでの再生では、画面ゆれが発生しますが異常ではありません。
- 6Hモードで録画されたテープをリニアスローモードで再生すると、画面にノイズが多く出ますが異常ではありません。
- 他のVTRで記録したテープをHDRモードで再生すると、トラッキング調整を行ってもノイズが出る場合がありますが故障ではありません。

サーチ操作

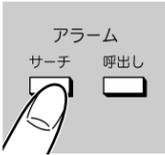


サーチ再生、アラームサーチ再生、メモリーストップを行う操作です。
時間/カウンタボタンを押してカウンタ表示にします。(21 ページ参照)

■サーチ再生 (早送り / 巻戻し再生) のしかた

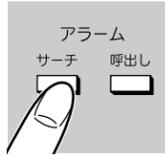
- 1  **再生**
押して、再生を開始する
- 2  **巻戻し / 早送り**
押し続ける (→注1)
どちらか
- 3  **巻戻し / 早送り**
指を離すと通常再生に戻る

サーチ操作を継続させる場合は、アラームサーチモードにします。

- 4  **アラームサーチ**
押して“AS”を表示させる

- ・再生中に、早送り / 巻戻しボタンを押すと、サーチ動作が継続して行われます。
- ・再度、再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

■アラームサーチ (アラーム録画部分の検索) / メモリーストップのしかた

- 1  **停止**
押して、停止状態にする
- 2  **アラームサーチ**
押して“AS”または“M”を表示させる (→注2)
- 3  **巻戻し / 早送り**
押して、早送り / 巻戻しさせる

- 4 **アラームサーチ**
押されたボタンの方向で、最初のアラーム録画部分をサーチして、静止画再生になる (→注3)
メモリーストップ
カウンタ“0”付近で停止します。

- 5  **一時停止 / 静止**
再生する場合押す
-  **メモリーストップ**
再生

ノート

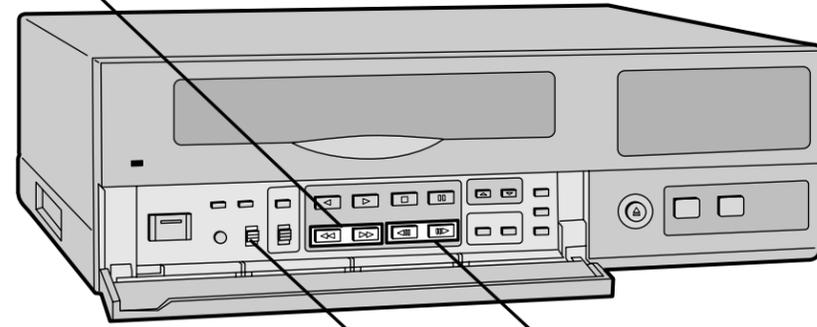
【注1】
サーチ再生は、巻戻しボタンを押すと、標準モード(2H)を5倍速で逆方向に再生し、早送りボタンを押すと、5倍速で正方向に再生します。

【注2】
アラームサーチ/メモリーストップモードを解除する場合、再度、アラームサーチボタンを押して、表示管から“AS”または“M”表示を消します。
AS : アラームサーチモード
M : メモリーストップモード

【注3】
アラームサーチ機能でサーチできるのは、6Hモードで録画されたアラーム録画部分だけです。

日付・時刻 合わせ

2,4,6,8



1,10 3,7,9

〔時刻・設定操作ボタン〕



シフト (▼) ボタン：項目移動
シフト (▶) ボタン：項目移動
セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

日付・時刻の設定を行います。

1



“時刻合わせ”
にする

〔→注1、2、3〕
簡単に時刻を合わせる (→注4)



6



年月日を設定後、
押す

〔→注4〕



2



押す
年が点滅する



7



押して、
時を設定する



3



押して、
数値を設定する



8



1回押す



4



押す



9



押して、
分を設定する



5

3～4の操作を繰り返して、月→日の順で設定する。

10



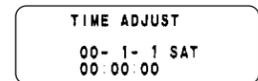
“切”にする
〔→注5〕



ノート

〔注1〕
録画時に時刻合わせを行うと、時刻合わせを行っている画面が録画されます。

〔注2〕
モニタテレビにも同様の画面が表示されます。



〔注3〕
初期表示は、98年1月1日です。(1998年1月1日)
最大は11年12月31日です。(2011年12月31日)

〔注4〕
時報などのタイミングに合わせてリセットボタンを押すと±15分の補正ができます。

(例)
20:13 → 20:00
20:48 → 21:00
20:35 → 20:35(変化しません。)

〔注5〕
10の操作を行った瞬間から時刻の歩進が開始されます。
時報などのタイミングに合わせて、操作すると正確な時刻設定ができます。

〔その他〕
・時間の月差は最大±60秒ずれることがあります。
・日付・時刻のデータは、1ヵ月以内であれば停電補償されます。
(ただし、40時間以上連続通电の場合)
・うるう年は自動的に調整されます。

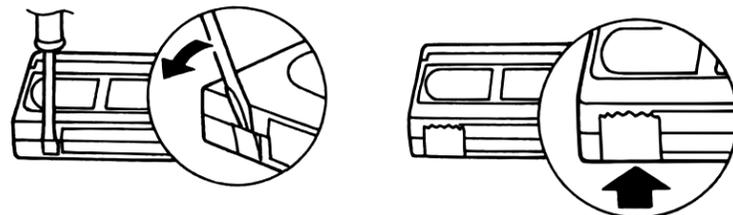
操作上のお願い

操作上のお願い

- 6H~L24Hモードでの録画中、一時停止ボタンを押すと、約3秒間逆方向にテープを走行したのち停止状態になります。再度押すと、約3秒間テープが走行してから録画が再開されます。
- リニアスローモードでの録画映像は間欠ですが、キャプスタンが低速で連続回転していますので、音声の記録が行えます。
- タイムラプスモードでは、キャプスタンが間欠回転しますので音声の記録はできません。
- メニュー画面2で録画時間モードを“OFF”以外に設定した場合、録画中にサブパネル内の時間モードボタンで時間モードの変更はできません。“OFF”に設定した場合は、録画中でも、時間モードの変更を、サブパネル内の時間モードボタンで変更することができます。
- 停電があった場合、停電が復帰して本機に電源が供給されると、モニタ画面に15秒間、以下のパワーロスメモリ画面が表示されます。
- アラーム録画中は、時間モードボタンは受け付けません。
- 静止画再生中に録画ボタンを押すと、録画一時停止モードになり、モニタにはE-E画が表示されます。
- 同一場所で正逆方向コマ送りを続けると、ノイズがでる場合があります。コマ送りを続けて行くとノイズは出なくなります。

誤消去防止つめについて

- 大切な録画テープを誤って消去してしまうことをカセットの“つめ”を折ることで、防止できます。
- つめ折れカセットに再度録画する場合は、折り取った部分にセロハンテープを二重にしっかりと貼ります。

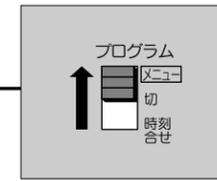
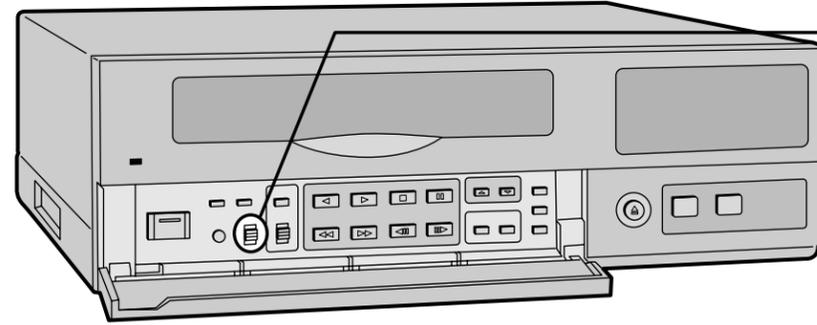


矢印の方向に折る

メニュー画面について

メニュー画面1 (画面表示の設定)	44
メニュー画面2 (VTRモードの設定1)	46
メニュー画面3 (VTRモードの設定2)	48
メニュー画面4 (アラーム録画モードの設定)	50
メニュー画面5 (1コマ録画モードの設定)	52
メニュー画面6 (内部タイマー録画モードの設定) ...	54
メニュー設定上のお願い	56

メニュー画面とは



“メニュー”にする

- ・前回設定していた画面が表示されます。
- ・始めて設定する場合は、メニュー画面1が表示されます。

〔メニュー設定操作ボタン〕



- ページ (-) ボタン：ページダウン
- ページ (+) ボタン：ページアップ
- シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
- シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
- セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
- セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

本機の多彩な機能をオンスクリーンで設定することができます。

■メニュー画面1〔画面表示の設定〕

```

((DISPLAY))
MODE T/D
CHARACTER WHITE
POSITION L-UPPER
TIME SELECT 24HOURS
DATE ON
TIME ON
T-MODE ON
((REC INDICATE))
NOT REC CAMERA
    
```

モニタテレビに表示される情報の設定を行うメニュー画面です。

■メニュー画面2〔VTRモードの設定1〕

```

((VTR MODE SELECT 1))
(REC T-MODE) OFF
(TAPE IN) STOP
(TAPE END) STOP
ALARM IN STOP
(EJECT OPERATION)
MODE EJECT
(AC OUT LET) LINK
    
```

- ・録画時間モードの設定
- ・カセット挿入時動作の設定
- ・テープ終端動作の設定
- ・イジェクト動作の設定

■メニュー画面3〔VTRモードの設定2〕

```

((VTR MODE SELECT 2))
(POWER LOSS MEMORY)
** **--** ** **
(VIDEO)
MODE AUTO
HI-BAND B/W ON
    
```

- ・パワーロスメモリの表示
- ・映像信号の選択
- ・録画方法の選択

■メニュー画面4〔アラーム録画モードの設定〕

```

((ALARM/SENSOR REC))
MODE OFF
DURATION 0.5MIN
BUZZER OFF
REPEAT IN OFF
(RESET PULSE)
INPUT LEVEL HIGH
(CAMERA SW)
TIMING 1FIELD
MODE TM2
    
```

- ・アラーム録画モードの設定
- ・リセットパルスの選択
- ・カメラ切り換え設定

■メニュー画面5〔1コマ録画モードの設定〕

```

((1-SHOT REC))
FIELD 1
INTERVAL 3MIN
((TAPE REMAIN))
BUZZER OFF
((REC REVIEW))
AUTO OFF
ERR BUZZER OFF
((ERR WARN BUZ))OFF
    
```

- ・1コマ録画モードの設定
- ・テープ残量警告ブザーの設定
- ・自動録画チェックの設定
- ・エラー表示警告ブザーの設定

■メニュー画面6〔内部タイマー録画モードの設定〕

```

((INTERNAL TIMER REC))
(TIMER) START END T-M
SUN OFF
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

- ・デイリータイマーの設定
- ・ウィークリータイマーの設定

ノート

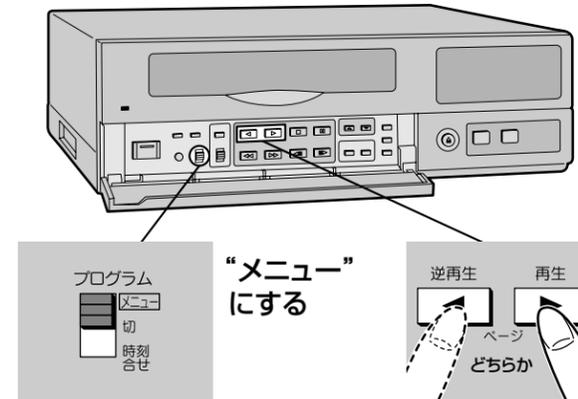
- ・メニュー画面は、VTRが停止またはイジェクト状態のときのみ表示させることができます。
- ・メニュー画面の操作方法
 - 1)プログラムスイッチを“メニュー”にする
 - 2)+/-ページボタンで希望のメニュー画面を選択します。
最終ページの次ページは先頭ページ、先頭ページの前ページは最終ページになります。
 - 3)▼シフトボタンを押すと、一行目が点滅する。
 - 4)▼▶シフトボタンで設定項目を選択する。
 - 5)+/-セットボタンで設定する。
 - 6)設定が終了しましたら、プログラムスイッチを“切”に戻します。
各項目の設定が確定されます。

メニュー画面1 画面表示の設定

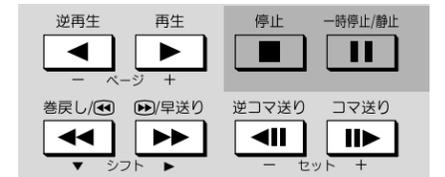
```

((DISPLAY))
MODE                T/D
CHARACTER           WHITE
POSITION            L-UPPER
TIME SELECT         24HOURS
DATE                ON
TIME                ON
T-MODE              ON
((REC INDICATE))
NOT REC             CAMERA
    
```

〔画面の出し方〕



〔メニュー設定操作ボタン〕



ページ (-) ボタン：ページダウン
 ページ (+) ボタン：ページアップ
 シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
 シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
 セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
 セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

モニタテレビ上に映し出される表示の設定を行います。

■表示モードの選択

1 **MODE** 通常表示される画面を選択します。
 T/D : 日付・時刻表示画面
 LAP : ラップタイム表示画面
 PAGE : ページカウント表示画面【注1】
 (ただし、時間モードが“000H”に設定されているときのみ表示されます。)

■表示文字の種類選択

2 **CHARACTER** 表示文字の種類を選択します。
 WHITE : 白文字 = ABCDE
 BLACK : ふちどり文字 = ABCDE

■表示位置の選択*

3 **POSITION** 表示位置を選択します

L-UPPER	R-UPPER
CENTER	
L-BOTTOM	R-BOTTOM

L-UPPER : 左上
 R-UPPER : 右上
 L-BOTTOM : 左下
 R-BOTTOM : 右下
 CENTER : 中央

■時刻表示モードの選択

4 **TIME SELECT** 時刻表示を24時間制かAM/PM制に選択します。
 24 HOURS : 24時間制表示 = 22:10:45
 AM/PM : AM/PM表示 = 10:10:45P

■日付表示のON/OFF

5 **DATE** 日付の表示をON/OFFします。

■時刻表示のON/OFF

6 **TIME** 時刻の表示をON/OFFします。

■時間モード表示とアラーム回数表示のON/OFF

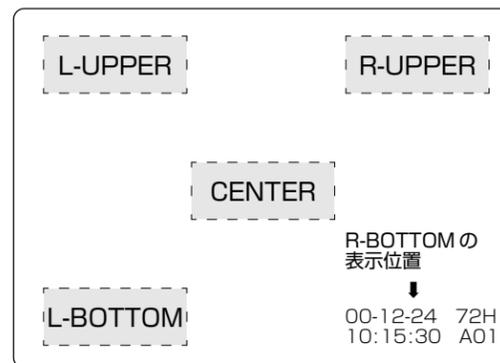
7 **T-MODE** 時間モードとアラーム回数の表示をON/OFFします。

■記録画面の選択

8 **[[REC INDICATE]] NOT REC** 記録モード以外の時の表示を選択します。
 CAMERA : カメラの入力信号
 BLUE : 記録モード以外の時はブルー。

*表示位置の微調整

停止、イジェクト中に、トラッキング(+、-)を押します。
 +を押すと右へ移動、-を押すと下へ移動します。



モニタテレビ

+と-を同時に押すとメニューの設定のプセット位置になります。右または下を越えると左または上から移動が始まります。

ノート

〔注1〕

日付・時刻表示画面



ラップタイム表示画面

現在の時刻に関係なく、録画を開始した時点からの録画通算時間を秒単位で表示します。(ただし、録画一時停止時はカウントしません。)

LAP 0:00:00

リセットボタンを押すと“0:00:00”にリセットすることができます。

ページカウント表示画面

1コマ録画時、1コマ記録するごとに1ページとしてカウントし、その総ページ(コマ)数を表示します。

(1コマ録画 → 52、58ページ)

999999

リセットボタンを押すと“0”にリセットすることができます。

〔その他〕

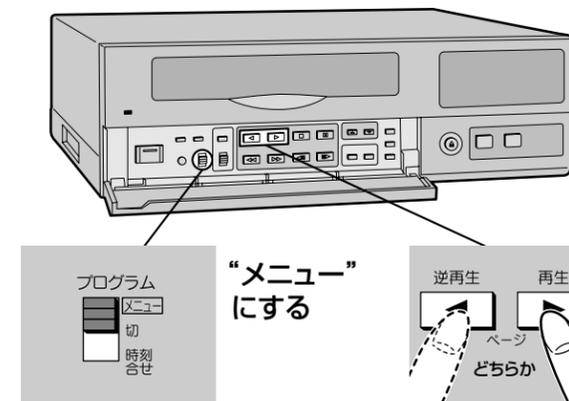
各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。

メニュー 画面 2

VTRモードの設定 1

〔〔VTR MODE SELECT 1〕〕
〔REC T-MODE〕 OFF
〔TAPE IN〕 STOP
〔TAPE END〕 STOP
ALARM IN STOP
〔EJECT OPERATION〕
MODE EJECT
〔AC OUT LET〕 LINK

〔画面の出し方〕



プログラム
メニュー
切
時刻
合せ

“メニュー”
にする

逆再生 再生
ページ
どちらか

希望のメニュー
画面が表示される
まで押す

〔メニュー設定操作ボタン〕



ページ (-) ボタン：ページダウン
ページ (+) ボタン：ページアップ
シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

VTRモードの各種設定を行います。

■記録時間モードの選択

1



録画時間モードを設定します。
録画を開始すると、必ず設定した時間モードになります。(→56ページ)
OFF：本機サブパネル部の時間モードボタンで任意に時間モードを設定できます。録画中に変更することもできます。
6H：6時間モード(一般のビデオの3倍モードと互換性があります。)
L18H：18時間モード(リニアスロー記録)
L24H：24時間モード(リニアスロー記録)
24H：24時間モード(HDR可能間欠録画)
48H：48時間モード(HDR可能間欠録画)
72H：72時間モード(HDR可能間欠録画)
96H：96時間モード(HDR可能間欠録画)
120H：120時間モード(HDR可能間欠録画)
180H：180時間モード(HDR可能間欠録画)
240H：240時間モード(HDR可能間欠録画)
480H：480時間モード(HDR可能間欠録画)
960H：960時間モード(HDR可能間欠録画)
000H：1コマ録画モード
(→52ページ)〔注1、2〕
■間欠録画および1コマ録画モードは音声の記録はできません。

■カセット挿入時の動作選択

2



カセットを挿入したときのVTRの動作を選択します。
STOP：停止モード
REC：自動録画モード〔注3〕
REW→REC：カセットを入れると、一旦テープ始端まで巻戻してから録画が自動で開始されます。

■テープ終端での動作選択

3



テープ終端でのVTRの動作を選択します。
STOP：停止モードになります。
BUZZER：停止し、ブザーが鳴ります。
REW：オートリwindモード〔注4〕
REPEAT：リピート録画モード〔注5〕

■アラーム入力が発生した場合のオートリwind機能の解除設定

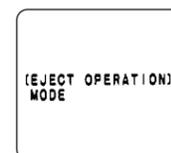
4



録画中、アラーム入力があった場合、オートリwind機能を解除するかどうかを選択します。
STOP：オートリwind機能は解除します。テープ終端で停止します。
CONTINUE：オートリwind機能は解除しません。(3の設定に従う)

■カセット取り出し(イジェクト)ボタンの動作選択

5



取り出しボタンを押したときの動作を選択します。
EJECT：ボタンを押すと、すぐカセットがイジェクトされます。
REW→EJECT：ボタンを押すと、一旦テープ始端まで巻き戻してからカセットがイジェクトされます。

■電源出力端子の機能選択

6



後面部にある電源出力端子の電源供給を本機の電源スイッチと連動・非連動にします。
LINK：本機の電源スイッチに連動します。
NON-LINK：本機の電源スイッチには無関係に常に電源が供給されます。

ノート

〔注1〕
本機の時間モードは、2時間テープを基本として設定されていますので、使用するカセットによって以下ようになります。(→56ページ)
・90分テープ：選択した時間の3/4時間
・60分テープ：選択した時間の1/2時間
・30分テープ：選択した時間の1/4時間

〔注2〕
リニアスロー録画とは
テープ走行速度をゆっくりにして音声を連続的に録画する方式です。(音声記録が可能)

間欠(タイムラプス)録画とは
テープを間欠に送りながら録画を行うことにより、長時間の録画が可能になります。(音声記録は不可能)

〔注3〕
自動録画モードとは
カセットを挿入するだけで、録画が自動的に開始されます。

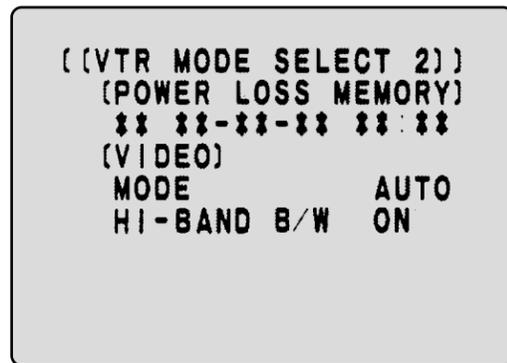
〔注4〕
オートリwind機能とは
テープ終端まで録画すると自動的にテープの始め(テープ始端)まで巻き戻す機能です。

〔注5〕
オートリピート録画機能とは
テープ終端まで録画すると、自動的にテープ始端まで巻戻し、繰り返し録画を行います。

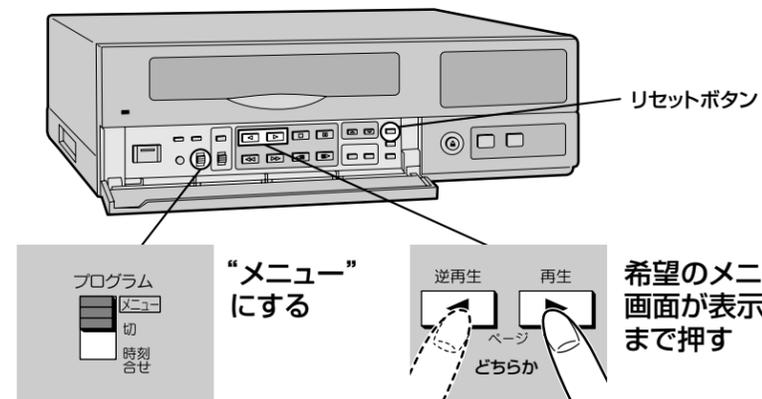
〔その他〕
各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。

メニュー 画面 3

VTRモードの設定 2



[画面の出し方]



[メニュー設定操作ボタン]



ページ (-) ボタン：ページダウン
 ページ (+) ボタン：ページアップ
 シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
 シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
 セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
 セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

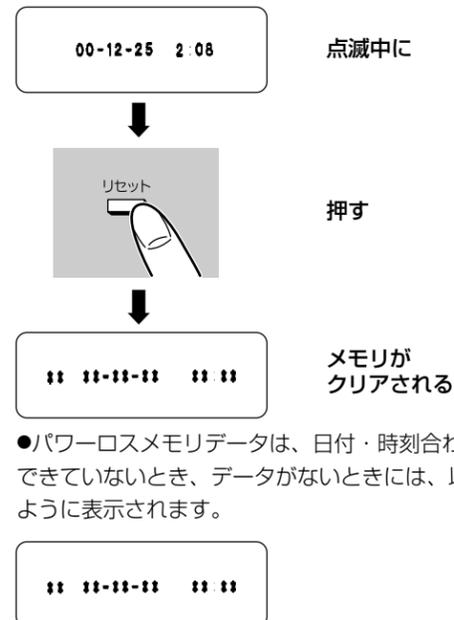
VTRモードの各種設定を行います。

■パワーロスメモリーの表示

1



パワーロスメモリを表示します。
 ●シフト▼ボタンを押して、番号を点滅させてからセット+ボタンまたは-ボタンを押すと、過去4回までのメモリを順次表示させることができます。
 ●パワーロスメモリーのデータは以下のようにするとクリアできます。



■映像信号モードの選択

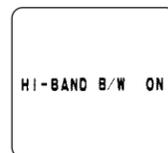
2



カラー/白黒自動切り換え回路の働きを選択します。
AUTO : 入力信号に応じて、自動的に回路を切り換えます。 (→注2)
COLOR : 強制カラーモード
B/W : 強制白黒モード (→注3)

■HI-BAND 録画モードの設定

3



HI-BAND 録画モードを設定します。
ON : 白黒画像の記録時は高解像度モードの録画処理
OFF : HI-BAND 録画モードを「切」にします。

ノート

[注1]
パワーロスメモリについて
 停電があった場合、99回まで停電回数をカウントし、その回数、日付・時刻を、最新の4回までをメモリします。

[注2]
 映像入力に白黒信号とカラー信号を混在させないでください。画面乱れ、ノイズ発生の原因になります。

[注3]
 入力信号によっては、自動判別を誤る場合があります。このときは、カラー信号はCOLORに、白黒信号はB/Wにします。(誤動作を防ぐため、入力信号に合わせて設定することをお勧めします。) B/Wの設定時にカラー信号を入力した場合やCOLORの設定時に白黒信号を入力した場合は、不自然な映像が記録されます。

[注4]
 HI-BAND B/Wモードを「ON」に設定して録画した画像は、HI-BAND B/Wを「ON」にして再生してください。HI-BAND B/Wを「ON」にしなかった場合はノイズが出る場合があります。また、HI-BAND B/W機能のないVTRで再生する場合は正しく再生できないことがあります。

[その他]
 各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。

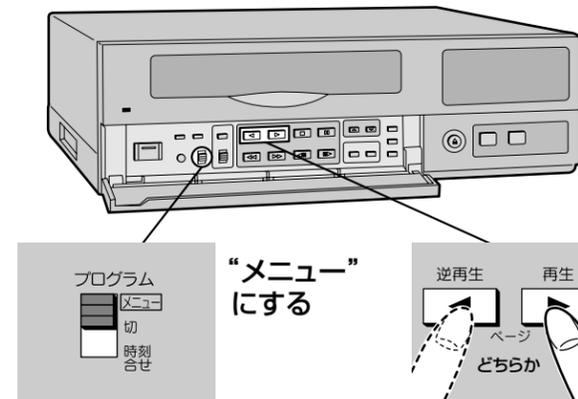
メニュー画面 4

アラーム録画モードの設定

```

([ALARM/SENSOR REC])
MODE                OFF
DURATION            0.5MIN
BUZZER              OFF
REPEAT IN           OFF
(RESET PULSE)
INPUT LEVEL         HIGH
(CAMERA SW)
TIMING              1FIELD
MODE                TM2
    
```

[画面の出し方]

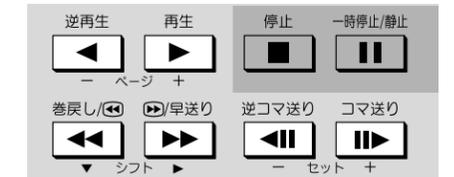


“メニュー”にする



希望のメニュー画面が表示されるまで押す

[メニュー設定操作ボタン]

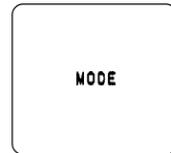


ページ (-) ボタン：ページダウン
 ページ (+) ボタン：ページアップ
 シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
 シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
 セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
 セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

アラーム録画モードの設定を行います。

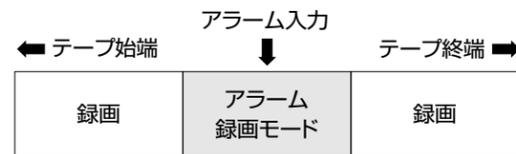
■アラーム録画時間モードの選択

1



アラーム入力があった場合の録画時間モードを選択します。

OFF : アラーム録画は行いません。
6H : 6時間モード
L18H : 18時間モード (リニアスロー)
L24H : 24時間モード (リニアスロー)
24H : 24時間モード (タイムラプス)
NO CHANGE : アラーム入力が発生しても、録画時間は変更しません。



●タイムラプスモードで録画中にアラーム入力があると、録画時間モードが指定したモードに切り換わり、異常事態を克明に記録します。

■アラーム録画間隔の設定

2



アラーム録画を開始してから終了するまでの時間を設定します。

0.5 MIN
 }
6 MIN : 0.5分、1.0分、1.5分、2.0分、3.0分、6.0分まで設定できます。
CONTINUE : テープ終端までアラーム録画します。
MANUAL : アラーム入力が続いている間、アラーム録画されます。

■ブザーの ON/OFF

3



アラーム録画時にブザーを鳴らす設定を行います。

OFF : ブザーはなりません。
ON : アラーム録画中ブザーが鳴ります。
 ●ブザーを解除するのに何か操作ボタンを押します。

■リピートイン機能の設定

4



録画時のオートリwind中にアラーム入力があった場合、アラーム録画を行うかどうかの設定を行います。

OFF : アラーム録画は行いません。
ACCEPT : アラーム録画を行います。〔→注3〕

■アラームリセットパルスの受け付けレベル選択

5



アラームリセットパルスの受け付けレベルを選択します。

HIGH : ハイレベルになります。
LOW : ローレベルになります。
 (→ 68 ページ)

■カメラ切り換えタイミングの設定

6



録画時、外部シーケンシャルスイッチャに対して出力するカメラ切り換えタイミングを設定します。

1、2、3、4、5、10、20、30、60 フィールドごとに切り換えます。〔→注1〕

■カメラ切り換えモードの選択

7



カメラ切り換えをフィールド単位で行うか、フレーム単位で行うかを選択します。〔→注2〕

TM1 : フレーム単位で切り換え
TM2 : フィールド単位で切り換え

ノート

〔注1〕
 7のカメラ切り換えモードの選択で“TM1”を選択した場合、カメラの切り換えはフレーム単位になります。

〔注2〕
 TM1は、フレーム単位で切り換えるスイッチャを接続する場合に選択します。
 TM2は、フィールド単位で切り換えるスイッチャを接続する場合に選択します。

〔注3〕
 リピートイン機能で“ACCEPT”を選択する場合は、1のアラーム録画モードを必ず“OFF”以外に設定しておいてください。“OFF”のまま“ACCEPT”を選択すると、VTRが誤動作する場合があります。

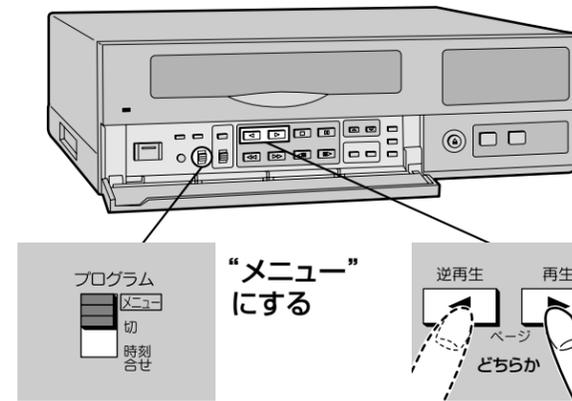
〔その他〕
 ●各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。
 ●アラーム録画間隔の設定を「MANUAL」でご利用の場合には、〔TAPE END〕MODEを「REW」、「REPEAT」以外に設定してください。

メニュー 画面 5

1コマ録画モードの設定

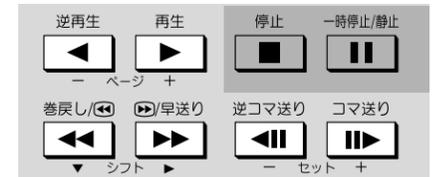
[[1-SHOT REC]]	
FIELD	1
INTERVAL	3MIN
[[TAPE REMAIN]]	
BUZZER	OFF
[[REC REVIEW]]	
AUTO	OFF
ERR BUZZER	OFF
[[ERR WARN BUZ]]	OFF

[画面の出し方]



希望のメニュー画面が表示されるまで押す

[メニュー設定操作ボタン]



ページ (-) ボタン：ページダウン
 ページ (+) ボタン：ページアップ
 シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
 シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
 セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
 セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

アラーム録画モードの設定を行います。

■1コマの録画時間の選択

1 FIELD

1コマ録画モードの1コマの録画時間をフィールド単位で選択します。
 1, 2, 3, 4, 5, 10, 15, 20, 30, 40, 50, 60
 (→注1)

■1コマ録画のインターバル時間設定

2 INTERVAL

1コマ録画する時間間隔を設定します。
 1：1分間のインターバル
 2：2分間のインターバル

録画時間

録画時間	インターバル時間	インターバル時間
------	----------	----------

■テープ残量警告ブザーのON/OFF

3 [[TAPE REMAIN]] BUZZER

録画モードでテープ終端の付近でのブザーを鳴らす設定を行います。
ON：ブザーが鳴ります。
 同時に表示管のREMAINが点滅します。
OFF：ブザーは鳴りません。

■自動録画チェック機能のON/OFF

4 [[REC REVIEW]] AUTO

本機が録画を開始すると数秒間録画を行い、その内容を自動的にチェックする設定を行います。
ON：録画チェックを行います。
OFF：録画チェックは行いません。

■録画チェック時のエラーブザーのON/OFF

5 [[REC REVIEW]] ERR BUZZER

録画チェック中、チェックの内容が不良の時、ブザーを鳴らす設定を行います。
ON：ブザーを鳴らします。
OFF：ブザーは鳴りません。

■エラー表示の警告ブザー ON/OFF

6 [[ERR WARN BUZ]]

本機に異常が発生した時、ブザーを鳴らす設定を行います。
ON：ブザーを鳴らし、エラーを警告します。
OFF：ブザーは鳴りません。
 モニタテレビ画面上にもエラー表示を行います。

自動録画チェック機能

停止状態から録画を開始したとき、録画チェックを自動的に行う機能です。最初に録画を数秒間行い、その内容を自動的に録画チェックします。録画チェック動作後、ヘッド汚れ、テープ劣化により適正なビデオレベルが得られなかった場合、表示管のカセットマーク (C) が点滅し、同時に自動ヘッドクリーニングを3回繰り返します。その後再度、数秒間録画を行い、その内容を録画チェックします。チェック結果が良好の場合は、カセットマークの点滅は消え録画が開始されます。チェック結果が不良の場合は、カセットマークの点滅はそのまま録画が開始されます。(→71ページ)

機能設定方法

メニュー画面5の「REC REVIEW」のAUTO設定をONにします。
 ●自動録画チェック機能が働いている間は、録画チェックボタンを押さないでください。VTRが誤動作する場合があります。

ノート

【注1】
 設定フィールドの1フィールド当たりの録画間隔は1秒です。

【その他】
 各項目の設定は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。

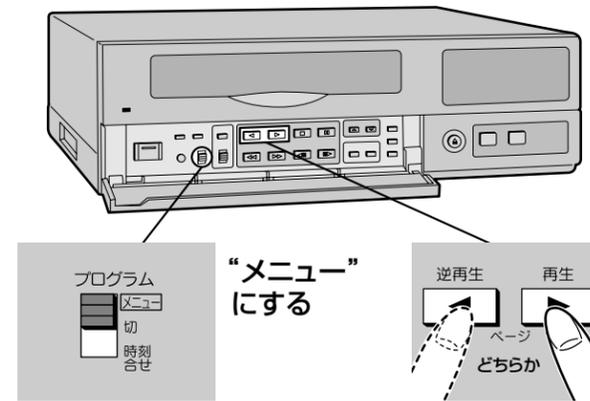
メニュー 画面 6

内部タイマー録画 モードの設定

```

((INTERNAL TIMER REC))
(TIMER) START END T-M
SUN OFF
MON OFF
TUE OFF
WED OFF
THU OFF
FRI OFF
SAT OFF
DLY OFF
    
```

[画面の出し方]



[メニュー設定操作ボタン]



ページ (-) ボタン：ページダウン
 ページ (+) ボタン：ページアップ
 シフト (▼) ボタン：項目移動 (下方向)
 シフト (▶) ボタン：項目移動 (右方向)
 セット (-) ボタン：項目変更 (数値減少)
 セット (+) ボタン：項目変更 (数値増加)

内部タイマーの設定を行います。

■内部タイマーモードの ON/OFF

1



内部タイマー設定モードを ON/OFF します。
ON : 内部タイマー録画が設定されます。
OFF : 内部タイマー録画が設定されません。

■タイマー録画開始時刻の設定

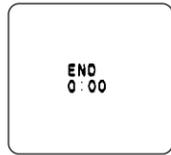
2



内部タイマー録画の開始時刻を設定します。
 シフトボタンで設定項目を選択し、セットボタンで数値を設定します。

■タイマー録画終了時刻の設定

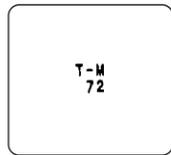
3



内部タイマー録画の終了時刻を設定します。
 シフトボタンで設定項目を選択し、セットボタンで数値を設定します。

■録画時間モードの設定

4



内部タイマー録画する場合の記録時刻モードを設定します。
 6H、L18H、L24H、24H、48H、72H、96H、120H、180H、240H、480H、960H、000H

■ウイクリータイマー録画

日曜日から土曜日までのあいだの各曜日ごとに、1日1回内部タイマー録画開始・時刻時間を設定できます。

各曜日ごとに、内部タイマーの ON/OFF、開始・終了時刻の設定、録画モードの設定を行います。

```

(TIMER) START END T-M
SUN ON 8 00 8 00 72
MON ON 12 00 14 00 72
TUE OFF
WED OFF
THU ON 14 00 23 00 72
FRI OFF
SAT ON 18 00 8 00 48
    
```

■デイリータイマー録画

毎日の決まった時刻に内部タイマー録画を、開始・終了させることができます。

```

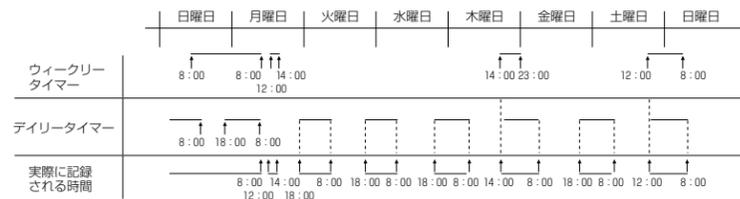
DLY ON 18 00 8 00
    
```

■ウイクリータイマーとデイリータイマーを組み合わせる場合

```

((INTERNAL TIMER REC))
(TIMER) START END T-M
SUN ON 8 00 8 00 72
MON ON 12 00 14 00 72
TUE OFF
WED OFF
THU ON 14 00 23 00 72
FRI OFF
SAT ON 12 00 8 00 48
DLY ON 18 00 8 00 72
    
```

左の画面のように設定された場合はウイクリー、デイリーの各タイマー録画と実際のテープ上に記録される時間は次のようになります。



■重なった部分の録画時間モードは、ウイクリータイマー録画モードが優先されます。

ノート

- 日付・時刻が設定されていないときは、内部タイマー録画は動作しません。
- 設定時刻の表示 (24 時間制か PM/AM 制) は日付・時刻設定で指定したモードに従います。
- 内部タイマー設定は、“ON” で開始・終了時刻を設定したあと “OFF” にすると、設定時刻の表示は、一旦消えますが、再度 “ON” にすると同じ表示がされます。
- ウイクリータイマー録画とデイリータイマー録画を組み合わせて設定した場合、重なった時間帯では、ウイクリータイマー録画記録時間モードの設定が優先されます。
- 各項目の設定は、プログラムスイッチを切り戻した時点で確定されます。

メニュー設定 上のお願

- メニュー画面は、ビデオが停止状態またはイジェクト状態のときだけ表示されます。録画、再生中などでは、メニュー画面は表示されません。
- 録画ロックスイッチが“切”以外に設定されていると、メニュー画面は表示されません。
- 内部タイマー録画は、日付・時刻の設定が完了していないと、動作しません。
- 各メニュー画面で設定した内容は、プログラムスイッチを切りに戻した時点で確定されます。
- 時間モードの選び方
下の表を参考にして、使用目的に合わせて各モードを選んでください。

モード	記録可能時間		映像記録 間隔(秒) (HDRモード)	音声記録	カメラ切替間隔(秒) (HDRモード)		テープ交換 の目安 (記録回数)
	120分テープ				TM1	TM2	
6H	6	—	可	可	—	—	—
L18H	18	0.05	可	可	0.1	0.05	50
L24H	24	0.083	可	可	0.167	0.083	50
24H	24	0.083	不可	不可	0.167	0.083	50
48H	48	0.15	不可	不可	0.3	0.15	25
72H	72	0.217	不可	不可	0.433	0.217	20
96H	96	0.283	不可	不可	0.567	0.283	20
120H	120	0.35	不可	不可	0.7	0.35	15
180H	180	0.517	不可	不可	1.033	0.517	10
240H	240	0.683	不可	不可	1.367	0.683	8
480H	480	1.35	不可	不可	2.7	1.35	4
960H	960	2.6833	不可	不可	5.367	2.683	2
注) 000H	手動	約120	約1.0	不可	—	—	—
	1分	7,200	60	不可	—	—	—
	2分	14,400	120	不可	—	—	—
	3分	21,600	180	不可	—	—	—

- 使用するカセットテープによって異なりますが、上表の記録可能時間より実際に記録できる時間は少し長めになります。
例えば、24 Hモードの場合、120分テープで26時間程度の記録が行えます。

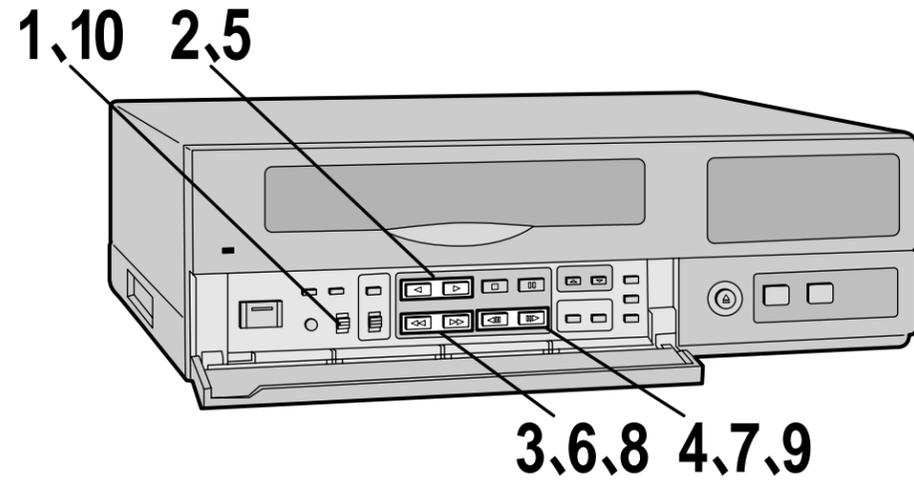
注) 000 H (1コマ録画) の各数値は、メニュー画面5の1コマの録画時間を1フィールドに設定した数値です。

こんな機能 もあります

応用的な操作

1コマ録画	58
その他の機能	62

1コマ録画



データファイル、アニメーションなどの用途に1コマ録画を行う場合の操作です。

1



“メニューにする”

```

{[DISPLAY]}
MODE           T/D
CHARACTER      WHITE
POSITION       L-UPPER
TIME SELECT    24HOURS
DATE           ON
TIME           ON
T-MODE         ON
{[REC INDICATE]}
NOT REC        CAMERA
    
```

6

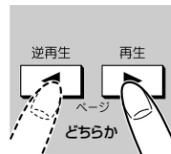


押して
“FILED”を
選択する

```

{[1-SHOT REC]}
FIELD          1
INTERVAL       3MIN
    
```

2



押して
メニュー画面2を
表示させる

```

{[VTR MODE SELECT 1]}
{[REC T-MODE]} OFF
{[TAPE IN]}     STOP
{[TAPE END]}    STOP
{[ALARM IN]}    STOP
{[EJECT OPERATION]}
MODE           EJECT
{[AC OUT LET]} LINK
    
```

7



押して
1コマ録画時間を
設定する
〔注2〕

```

{[1-SHOT REC]}
FIELD          1
INTERVAL       3MIN
    
```

3



押して
“REC T-MODE”
を選択する

```

{[VTR MODE SELECT 1]}
{[REC T-MODE]} OFF
{[TAPE IN]}     STOP
{[TAPE END]}    STOP
{[ALARM IN]}    STOP
{[EJECT OPERATION]}
MODE           EJECT
{[AC OUT LET]} LINK
    
```

8



押して
“INTERVAL”を
選択する

```

{[1-SHOT REC]}
FIELD          1
INTERVAL       3MIN
    
```

4



押して
“OFF”または
“000H”にする
〔注1〕

```

{[VTR MODE SELECT 1]}
{[REC T-MODE]} OFF
{[TAPE IN]}     STOP
{[TAPE END]}    STOP
{[ALARM IN]}    STOP
{[EJECT OPERATION]}
MODE           EJECT
{[AC OUT LET]} LINK
    
```

9

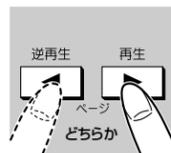


押して
インターバル時間を
設定する
〔注3〕

```

{[1-SHOT REC]}
FIELD          3
INTERVAL       1MIN
    
```

5



押して
メニュー画面5を
表示させる

```

{[1-SHOT REC]}
FIELD          1
INTERVAL       3MIN
{[TAPE REMAIN]}
BUZZER         OFF
{[REC REVIEW]}
AUTO           OFF
ERR BUZZER     OFF
{[ERR WARN BUZ]} OFF
    
```

10



“切”にする

通常画面

ノート

〔注1〕
メニュー画面2の“REC T-MODE”が“OFF”になっている場合、前面サブパネル部の時間モードボタンを押しても、“000H”に設定します。REC T-MODEが“000H”になっていると録画時は、常に1コマ録画になります。

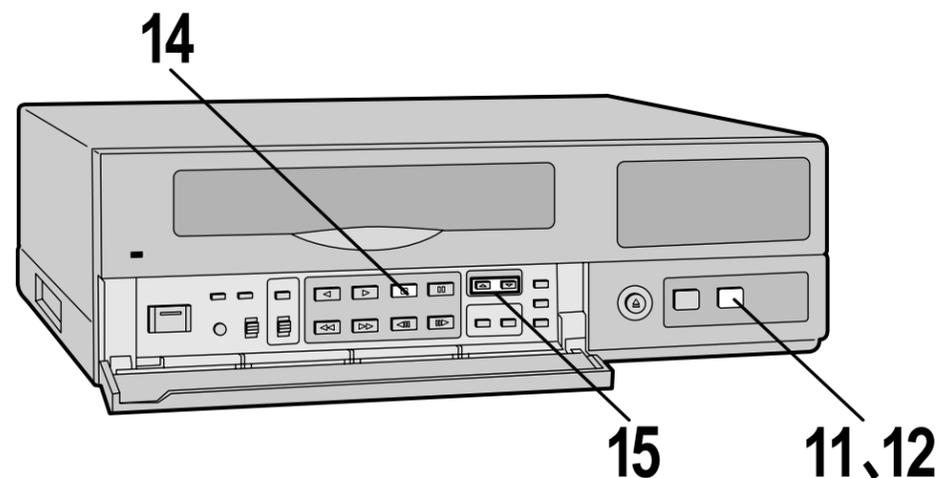
〔注2〕
1コマ録画時間は、セットボタンを押すごとに、1→2→3→4→5→10→15→20→30→40→50→60→1→2→…と変わります。(単位はフィールドです。)

〔注3〕
インターバル時間は、セットボタンを押すごとに、1→2→3→1→…と変わります。(単位は分です。)

↓(操作続く)

1コマ録画

つづき



11



押すと
数コマ録画し、
録画待機中になる



12



再度押すと
1コマ録画して
録画待機中になる



13

- 以降録画ボタンを押すごとに、1コマ録画する
- 録画ボタンを押さない場合は、インターバル時間が経過すると自動的に、1コマ録画します。

14



停止する場合
押す

15



モードを解除する
場合“000H”以外に
する
〔注1〕



■リモートスイッチを使用して1コマ録画する場合

前面の録画ボタンを押して、1コマ録画する以外に、リモートスイッチを接続して、離れた場所で1コマ録画することができます。

- リモートスイッチについては、販売店にご相談ください。
- リモートスイッチの入時間は100ms以上が必要です。
- リモートスイッチを入れる間隔は約1秒以上が必要です。
(信号レベルについては68ページを参照ください。)

ノート

【注1】
メニュー画面2のREC T-MODEを“000H”に設定している場合は、メニュー画面2に移ってREC T-MODEを“000H”以外に設定します。

【その他】
1コマ録画で記録可能な時間については、56ページを参照ください。

その他の機能

停電復帰録画

録画中に停電があった場合、1ヶ月以内に停電が復帰されれば、本機は自動的に録画モードになります。

- 停電直後、本機は、ビデオヘッド、テープを保護するため、テープ保護モードになります。
- 停電時の本機の状態によって、停電復帰後の状態は、録画モードによって以下ようになります。

状態 モード	録 画	再生、停止 早送り、巻戻し	オートリピート録画時 のオートリワインド中
アラーム	録画	停止	テープ始端まで巻戻して から録画
内部タイマー	タイマー設定に 従って録画		
外部タイマー	録画	録画	テープ始端まで巻戻して から録画

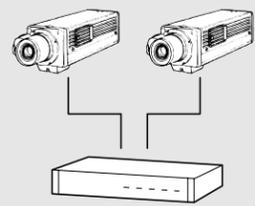
- 1ヶ月以上の停電の場合、停電復帰後、テープが挿入されていると強制的に72Hモードで録画が開始されます。

接続について

機器の接続	64
ターミナルの接続	66
ターミナルの信号レベル	68

機器の接続

映像入力端子 (BNC)



フレームスイッチャなどからの外部映像入力信号を接続します。

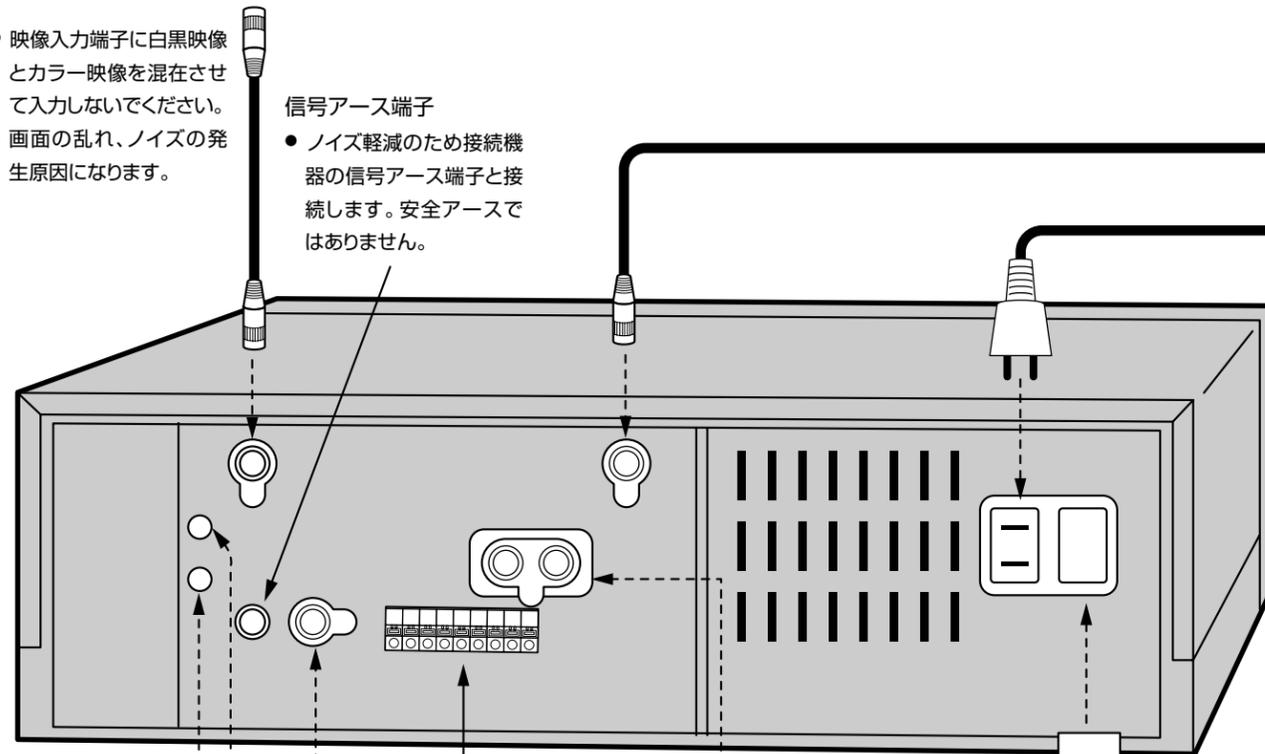
- この端子を使用する場合は、メニュー画面3のVIDEO INを“LINE”に設定します。

- 映像入力端子に白黒映像とカラー映像を混在させて入力しないでください。画面の乱れ、ノイズの発生原因になります。

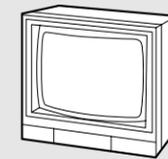
信号アース端子

- ノイズ軽減のため接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。

ターミナル部 (66ページ参照)



映像出力端子 (BNC)



モニタテレビ

映像信号を出力します。

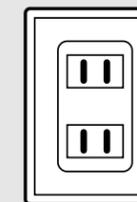
- モニタテレビによっては、ノイズが発生する場合があります。

電源出力端子

AC100V最大250Wの電源を供給します。

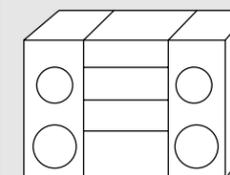
- 本機の電源スイッチと連動させるか、非連動にするかをメニュー画面2で選択できます。(→47ページ)

電源入力端子



付属の電源コードを接続し、家庭用AC100V電源コンセントと接続します。

音声入出力端子 (ピンジャック)



オーディオ機器

音声を入出力する端子です。

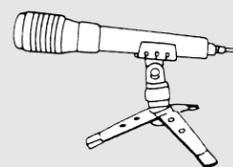
- 音声入力端子とマイク端子を同時に使用した場合は、マイク端子の音声優先的に記録されます。

リモコン (シリアル) 端子 (M3)



リモートコントローラを接続する端子です。

マイク入力端子 (M3)



マイク

マイクからの音声入力信号を接続します。(600Ωインピーダンス)

- M6端子のマイクを接続する場合は、コネクタ変換プラグをご使用ください。

カメラ切り換え出力端子

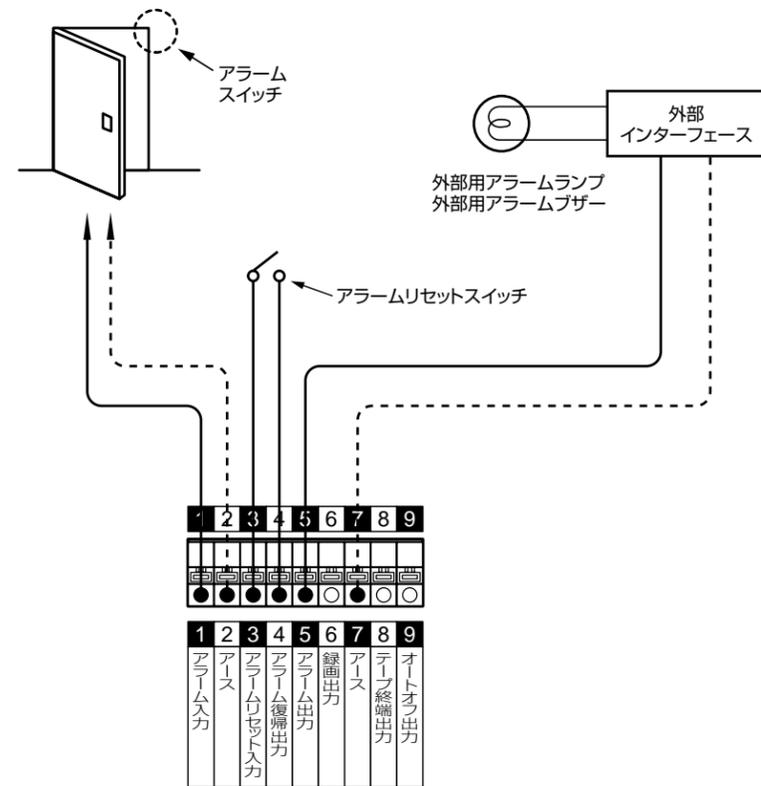


フレームスイッチャなど

フレームスイッチャなどのカメラ切り換えタイミングを変える信号を出力します。

ターミナルの接続

アラーム録画の接続



- メニュー画面4でアラーム録画の設定がされている場合、アラーム入力信号が入ると、アラーム録画が開始されます。
- アラームリセットは、アラームリセット入力とアラーム復帰出力をアラームリセットスイッチでショートさせてアラーム録画を解除できます。

コードの接続について

ターミナル部へ接続するコードは、下図のように先端部分をしっかりとよじっておいてください。

しっかりよじるか、ハンダ付けをする。



コードを抜き差しするときはこの部分をマイナスドライバーなどで押す

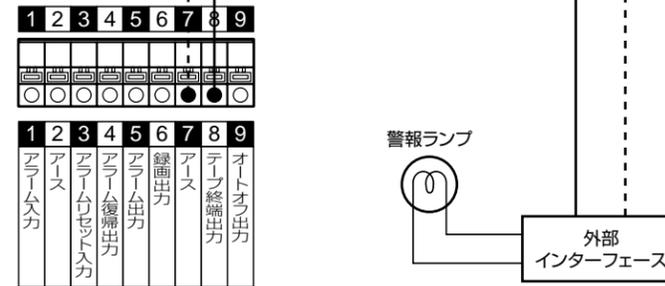


単線：φ0.4～φ1.2
より線：0.3mm²～1.25mm²
(素線の径はφ0.18以上のこと)



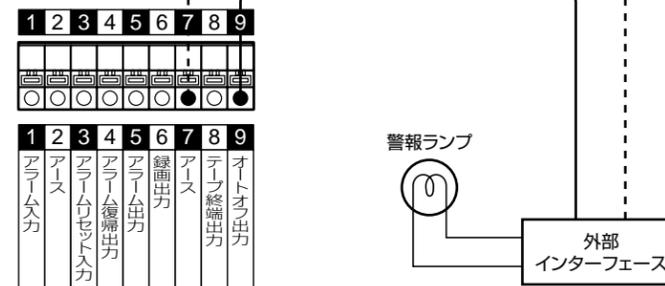
- 先がしっかりよじれていないと、ショートの原因になります。

テープ終端出力の接続



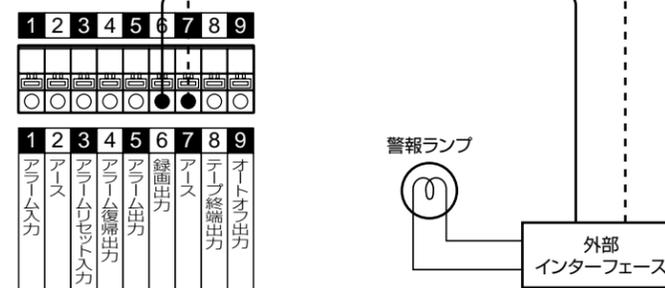
録画中に、カセットテープが終端になると、外部に設けた警報装置を作動させます。

オートオフ出力の接続



本機に異常が生じたとき、外部に設けた警報装置を動作させます。
この場合、ディスプレイにエラーコードが表示されます。(➡71ページ)
また、録画チェック動作後、ヘッド汚れ、テープ劣化により適正なビデオレベルが得られなかった場合に、外部装置を動作させます。同時に表示管のカセットマーク(☐)が点滅します。(➡71ページ)

録画出力の接続



本機が、録画状態になると、外部に設けた警報装置を作動させます。

ターミナルの 信号レベル

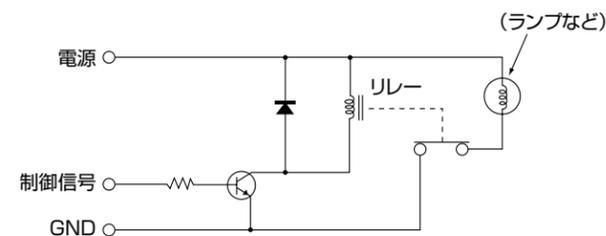
ターミナル名	信号レベル	備考	
①アラーム 入力	 V_{IH} V_{IL}	$V_{IH}=4\sim 5.5V$ $V_{IL}=0\sim 0.6V$ $T\geq 100mS$	接地入力
③アラーム リセット入力	 V_{IH} V_{IL}	$V_{IH}=4\sim 5.5V$ $V_{IL}=0\sim 0.6V$ $T\geq 100mS$	HIGH/LOW (H)と(L)は メニュー画面 4で選択可能 (➡51ページ)
④アラーム 復帰出力	 V_{OH} V_{OL}	$V_{OH}=5\pm 0.5V(200\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max.3mA)$	HIGH出力
⑤アラーム 出力	 V_{OH} V_{OL}	$V_{OH}=11\sim 13V(4700\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max.3mA)$	HIGH出力
⑥録画出力	 V_{OH} V_{OL}	$V_{OH}=11\sim 13V(4700\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max.3mA)$	HIGH出力
⑧テープ終端 出力	 V_{OH} V_{OL}	$V_{OH}=11\sim 13V(4700\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max.3mA)$ $T\approx 2s$	接地出力
⑨オートオフ 出力	 V_{OH} V_{OL}	$V_{OH}=11\sim 13V(4700\Omega)$ $V_{OL}=0\sim 0.6V(Max.3mA)$	接地出力

使用上のお願い

露付き (d) の表示	70
エラーコード	71
日常点検／定期点検	72
取り扱い上のお願い	73
こんなときは (Q&A)	74

外部インターフェース作成仕様

HIGH信号にてランプ点灯例



●各素子は、使用実体に合った定格のものをご使用ください。

露付き (d表示)

■本機内部に露付きが発生すると表示管に“d”マークが表示されます。

そのまま数時間、“d”マークが消えるまでお待ちください



* dは英語のdew(露)の略です。

露付きとは、冬季に暖房した部屋のガラスに水滴が付くような現象をいいます。

■露付きが起きた場合

- 表示管に“d”が表示されます。
- “d”表示が消えるまでは、操作を行うことはできません。そのままお待ちください。(イジェクトは可能)
- 電源が“切”の状態では露付きが起こると、自動的に電源が入り、“d”マークが表示されます。
- カセットが入っている場合、中間イジェクト状態になります。
- カセットが入っていない場合は、“d”が消えるまではカセットを挿入することはできません。

■露付きが解除されると

- 通常操作が可能になります。
- カセットが入っていた場合は、停止状態になります。
- 録画中に、露付きが発生した場合、露付き解除後に再び録画状態に戻ります。

■露付きは進行中にもご注意

普通、露付きは徐々に進行しますので露付きが始まって10～15分間くらいは“d”マークが点滅しないことがあります。特に部屋の温度や湿度が変わったときには、20分たってからご使用ください。

■露付きが発生しやすい条件は

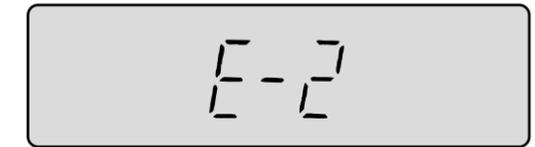
- 本機やカセットを温度や湿度差の大きいところに移動したとき
- 湿度の高いところ
- 冷房されているところから急に温度や湿度の高いところに移動したとき
- 暖房した直後の部屋

エラーコード 表示

■本機に異常が発生すると、表示管にエラー表示を行います。

下記の指示に従って、対処してください。

■エラーコード表示

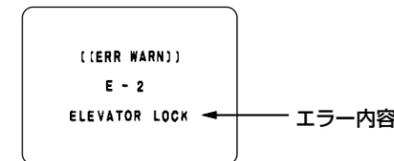


■カセットマーク点滅表示



本機に異常が発生すると、表示管にエラー表示がでます。表示管にエラー表示を行うことで、本機の異常状態を知らせます。

■メニュー画面5のERR WARN BUZがONの時は、モニタテレビにはエラーの内容も表示されます。



エラー内容

■エラーコードが表示されると

- オートオフ出力端子⑨が接地出力になります。
- すべての動作が停止します。
- 下記の対処を行っても、エラーが解除されない場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから外し、すぐに販売店にご連絡ください。

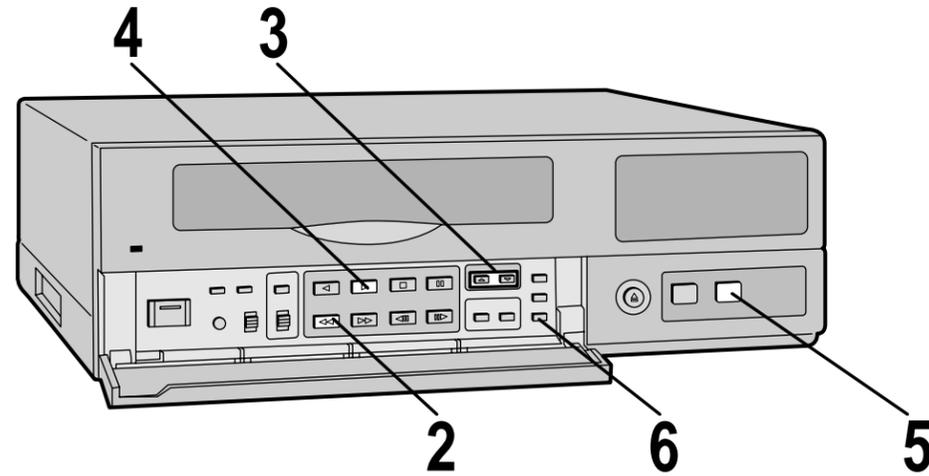
エラーコード表

エラーコード	内 容	対 処
E-2	エレベータ部分の異常	ビデオカセットが正しく挿入されていないと、これらのエラーが発生する場合があります。再度電源を入れ直してみてください。
E-3	ローディング部分の異常	
E-4	シリンダ部分の異常	ビデオカセットの状態が悪いと、これらのエラーが発生する場合があります。再度電源を入れ直して、ビデオカセットを交換してみてください。
E-5	リール部分の異常	
E-6	テープテンション異常	
E-7	リールソレノイド異常	再度電源を入れ直してください。
E-11	オーディオ記録回路の異常	再度電源を入れ直してください。

■カセットマークが点滅すると

	<p>記録チェック操作を行った後、ヘッド汚れやテープ劣化により、適正なビデオレベルが得られなかった場合、表示管のカセットマーク(☉)が点滅します。操作は継続できますが、必ずヘッドクリーニングまたはカセットテープの交換を行ってください。</p>
--	---

日常点検 / 定期点検



■日常点検

本機は、長時間の使用に耐えるように設計されていますが、日常点検、定期点検は必ず行ってください。

1 各機器の電源を入れる

- ・モニタテレビに正しい映像が出ていますか？
- ・日付・時刻は合っていますか？

2



前日に記録したカセットを少し巻き戻す

3



押して、時間モードを“6H”にする

4



再生して、映像を確かめる

- ・再生画が正常ですか？
- ・記録した日付・時刻は合っていますか？

5



6時間モードで録画をしてみる

- ・録画した内容を再生して、異常はないですか？

■定期点検

- 定期点検は販売店でを行う点検です。
- 定期点検を受ける目安として、本機には、総使用時間(シリンダーの総回転時間)を表示する機能(アワーメータ機能)があります。
- 総使用時間の値によって、本機内部の部品交換、清掃が必要です。
- 使用時間ボタンは本機のモード、録画ロックスイッチの設定にかかわらず、常に操作可能です。
- 詳しいことは販売店にご相談ください。

6



押す
表示管に総使用時間が表示されます。



ノート

- 日常点検後、異常があった場合、「こんなときは(Q & A)」74 ページを参照して、原因の解決を試みてください。それでも、異常状態が解決されない場合は、電源を切り、電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、販売店にご相談ください。
- 特にオートリピート録画の場合、日常点検は怠らずに行ってください。

取り扱い上のお願い

故障の原因になりますので、必ず守ってください。

殺虫剤や揮発性のものをかけない！

変色や塗装がはげる場合があります。

本機の汚れは柔らかい布で拭き取ります。

- 中性洗剤を薄めたもので汚れを取ります。その後必ず乾拭きしてください。

本機の清掃にベンジン、シンナーを使用しないでください。

変色や塗装がはげる場合があります。

- 長時間ご使用になると、天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 長時間ご使用にならないときは、機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用ください。

こんなときは (Q&A)

こんなときは…	ここを確かめて…	このようにします
---------	----------	----------

■電源

電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグを完全に差し込みます。
	●外部タイマーを接続していませんか？	外部タイマーを操作して通電状態にします。

■操作

操作ボタンを押しても、動作しない	●表示管にエラーコードが表示されていませんか？	71ページを参照ください。
	●表示管に“  ”マークが表示されていませんか？	70ページを参照ください。
	●録画モードが“内部タイマー”になっていませんか？	録画モードボタンを押して、無表示にします。
	●カセットは完全に挿入されていますか？	カセットを正しく挿入し直します。

■録画

録画できない	●カセットの“つめ”が折れていませんか？	40ページを参照ください。
	●カセットテープが終端になっていませんか？	巻戻しを行います。
	●一時停止／静止ボタンが押されていませんか？	解除します。
録画が停止できない	●録画ロックスイッチが“1”、“2”に設定されていませんか？	録画ロックスイッチを“OFF”に設定します。
停電復帰録画をしない	●1カ月以上停電していませんか？	62ページを参照ください。
内部タイマー録画ができない	●日付・時刻合わせが完了していますか？	日付・時刻合わせを完了させます。 (38ページ参照)

こんなときは…	ここを確かめて…	このようにします
---------	----------	----------

■録画

オートリピート録画ができない	●メニュー画面2の“TAPE END MODE”が“REPEAT”になっていますか？	“REPEAT”にします。 (47ページ参照)
アラーム録画ができない	●メニュー画面4の“MODE”が“OFF”になっていませんか？	“OFF”以外にします。 (50ページ参照)
	●アラームスイッチの接続は完了していますか？	接続を完了させます。 (66ページ参照)
テープ終端ブザーがならない	●メニュー画面2の“TAPE END MODE”が“BUZZER”になっていますか？	“BUZZER”にします。 (47ページ参照)

■再生

再生できない	●録画済みのカセットが挿入されていますか？	録画済のカセットを正しく挿入します。
再生画にノイズがでる	●トラッキングがずれていませんか？	トラッキングボタンを押して、トラッキングの調整を行います。 (35ページ参照)
	●ヘッドが汚れていませんか？	別売のクリーニングテープで清掃してみてください。 それでも良くならない場合は、販売店にご相談ください。
	●テープが古くなっていませんか？	新品のカセットテープに交換してください。
再生画像が上下に揺れる	●モニタテレビの垂直同期が乱れていませんか？	モニタテレビの垂直同期を調整してください。

■時計表示

時刻が正しく表示されない	●内部バッテリーは十分に充電されていますか？	40時間以上の連続通電を行ってください。 (➡39ページ) それでも正しく表示しない場合は、内部バッテリーの寿命が考えられます。 販売店に相談して、新しい内部バッテリーに交換してください。
--------------	------------------------	---

■メニュー画面

メニュー画面が表示されない	●ビデオが停止、イジェクト状態になっていますか？	メニュー画面は、停止、イジェクト状態の場合のみ表示可能です。
	●録画ロックスイッチが“切”になっていますか？	録画ロックスイッチが“1”または“2”に設定されていると、メニュー画面は表示されません。

アフターサービス

1.保証書—内容の確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.保証期間—1カ年

取扱説明書及び本体添付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合は、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
- (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合、その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
- (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
- (ヘ) 別に指定する磨耗性の部分、あるいは付属品の故障及び損傷

3.補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部分（機器維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

4.修理を依頼されるまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「こんなときは(Q&A)」の項を点検していただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申し付けください。

5.ご転居、定期保守サービスなどご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

※磨耗性部品とは下記の部品類です。

- | | | |
|---------|--------|---------|
| •ヘッド類 | •各種ベルト | •ゴムプリー類 |
| •各種ブレーキ | •モータ類 | •ローラ類 |

定 格

一 般

電 源：AC100V 50/60Hz
消費電力：20W

■は安全項目です。

許容周囲温度	5℃～40℃
許容相対湿度	35%～80%
外形寸法	380(幅)×112(高さ)×340(奥行き)mm
重量	7.0kg
録画再生方式	回転4ヘッドヘルキヤルスキャン アジマス記録方式
テープ速度	1.112cm/sec(6時間モード時)
使用テープ	VHS規格テープ
録画時間モード	6時間 HDR：L18/L24/24/48/72/96/120/180/240/480/960時間、1コマ録画モード
早送り/巻戻し時間	3分以内(120分テープ使用時)

映 像

テレビジョン方式	NTSC方式 525本 60フィールド
変調方式	輝度信号：周波数変調方式 色信号：低域変換 $\pi/2$ 移相
ライン入力(BNC)	1.0Vp-p、75 Ω 不平衡
ライン出力(BNC)	1.0Vp-p、75 Ω 不平衡
水平解像度	白黒モード：370本以上(HI-BAND B/W ON時) カラーモード：230本以上
S/N	白黒モード：42dB(6Hモード)(SCトラップOFF) カラーモード：42dB(6Hモード)(SCトラップON)

音 声

ライン入力(ピンジャック)	-10dBV、入力インピーダンス47K Ω 不平衡
マイク入力(M3)	-60dBV、適合マイク600 Ω ～4.7K Ω 不平衡
ライン出力(ピンジャック)	-8dBV、出力インピーダンス600 Ω 不平衡
トラック数	1トラック(NORM)
記録再生モード	6H、L18H、L24Hモード

付属品

電源ケーブル	1本
--------	----

機能	メニュー画面	ページ	機能	メニュー画面	ページ
ア行 (以下50音順)			タ行		
アラーム入力時のオートリワインドの解除	画面2-4	47	テープ終端での動作選択	画面2-3	47
アラーム録画間隔の設定	画面4-2	50	テープ残量ブザーの選択	画面5-3	52
アラーム録画時間モードの設定	画面4-1	50	通常画面の選択	画面1-1	44
アラーム録画時のカメラ切り換えタイミング設定	画面4-6	51	ナ行		
アラーム録画時のカメラ切り換えモード設定	画面4-7	51	内部タイマー録画の設定	画面6	54
アラーム録画時のブザーのON/OFF	画面4-3	51	ハ行		
アラームリセットパルスの受け付けレベル設定	画面4-5	51	パワーロスメモリーの表示	画面3-1	48
エラー表示の警告ブザー設定	画面5-6	53	日付表示のON/OFF	画面1-5	44
オートリPEAT録画機能の設定	画面2-3	47	1コマ録画のインターバル時間設定	画面5-2	52
オートリPEAT録画時のアラーム入力設定	画面4-4	51	1コマ録画の録画時間設定	画面5-1	52
オートリワインド機能の設定	画面2-3	47	HI-BAND録画モードの設定	画面3-3	49
カ行			ラ行		
カセット挿入時の動作選択	画面2-2	46	録画時間モードの選択	画面2-1	46
カセット取り出しボタンの機能選択	画面2-5	47	録画チェック時のエラーブザーのON/OFF	画面5-5	52
画面表示位置の選択	画面1-3	44	録画レビューの設定	画面5-4	52
画面表示文字の選択	画面1-2	44			
カラー/白黒自動切り換え回路の設定	画面3-2	48			
記録画面の選択	画面1-8	45			
サ行					
時間モード表示のON/OFF	画面1-7	45			
時刻表示のON/OFF	画面1-6	45			
時刻表示(24時間制・AM/PM制)の選択	画面1-4	44			
自動録画機能の設定	画面2-2	46			

松下電器産業株式会社 AVC社 システム事業グループ

☎571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161